

重 要	再生できるディスクの種類・・・	11ページ
	ディスクの操作について・・・	11ページ

6ディスク マルチ
DVD-V/VCD/CD・WMA/MP3対応プレーヤー

XDV-P70

取扱説明書

目次 8ページ

carrozzeria

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

⚠ 警告

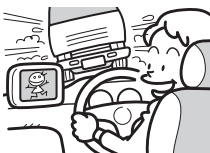
[使用方法]

運転中に操作をしない



画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

走行中にテレビやDVDなどを見ない



運転者がテレビやDVDなどを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやDVDなどを見ると前方不注意となり、交通事故の原因となります。

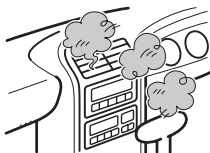
[異常時の処置]

故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

ディスク切り換えについて

本機は、ディスクを自動で切り換えない仕様になっています。ディスクの切り換えは、27ページの説明に従って操作してください。

安全走行のために

リア映像出力に接続したモニターの使用について

本機のリア映像出力は、後部座席でDVDやビデオCDを見るモニターに接続するための出力です。リア映像出力に接続したリアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができる位置には、絶対に設置しないでください。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

モードスイッチの切り換えについて

組み合わせる機器に合わせて、ハイダウェイユニットの側面にあるモードスイッチ（取付説明書）をボールペンの先などで切り換えてください。切り換えたあとは必ずリセットボタンを押してください（19ページ）。

(1) IP-BUS入力付きパイオニア製品と組み合わせる場合

- ・ IP BUSモードで使用します。

(2) IP-BUS入力のないパイオニア製品または他社製品と組み合わせる場合

- ・ STAND ALONEモードで使用します。

この説明書の構成

操作方法が書いてあります。

開いたページで説明している
ディスクの種類です。

操作の結果が書いてあります。

画面表示です。

ディスク (DVD・ビデオCD・CD・MP3/WMA) の再生

ディスクの選択と再生

1 1～6のボタンのひとつを押して、再生したいディスクを選ぶ。
再生が完了します。

- それぞれのホルダーには対応するインジケータがあります (36ページ)。
- 選べるディスクのホルダーのインジケータは青で点灯しています。ディスクが収納されていないホルダーは点灯しません。
- ▲ボタン (DISC) でも、ディスクを選べます。
- DVDやビデオCDの場合、メニューが表示されるディスクもあります。
- 本機は、ディスクを自動では切り換えない仕様になっています。再生するディスクを切り換えるには、1～6のボタンまたは▲ボタン (DISC) を押してください。

メニュー画面の操作と再生

メニュー画面付きDVDやプレイバックコントロール (PBC) 機能付きビデオCDの再生を開始すると、メニュー画面が表示されます。

■DVDのとき

1 ジョイスティックを操作して、メニューを選ぶ

2 ジョイスティックを押す
選んだメニューから再生されます。

Menu Menu

1 Chapter List

2 予告編

3 字幕

4 音声

6 本編Start

●メニュー画面を表示するには

再生中にMENUボタンまたはTOP MENUボタンを押すことで、メニュー画面を表示することができます。もう一度押すと、メニュー画面に切り換えた画面から再生することができます。詳しくは、ディスクに付されている説明書をご覧ください。

- メニュー表示や操作方法は、ディスクによって異なります。
- DVD中には、0～10のボタンでメニュー画面の操作ができるものもあります。

■ビデオCDのとき

1 0～10のボタンを押して、メニューを選ぶ
選んだメニューから再生されます。

3を選ぶには、3を押します。
10を選ぶには、順に1、0を押します。
6を選ぶには、順に6、3を押します。
10先を選ぶには、10を押します。

●メニュー画面を表示するには

PBC再生中にRETURNボタンを押すことで、メニュー画面を表示することができます。詳しくは、ディスクに添付されている説明書をご覧ください。

- 入力した数字を取り消すには、0を押します。
- メニュー画面がページ以上あるときは、スキップ (◀ または ▶) ボタンを押して表示を切り換えます。
- PBC再生をオフにすることはできません。
- ジョイスティックでは、操作できません。

DVD
Video
CD
MP3/WMA

基本的な操作

操作できるディスクが限られている
場合に、対応しているディスクの種
類を表示しています。

章の見出しです。

操作するボタンです。

知っておいてほしいことや便利な操作など
について書いてあります。

5

こんなことができます

DVD・ビデオCD (PBC対応)・CD・MP3/WMAを多彩に再生することができます。

■ リピート再生

いろいろなくり返し再生をすることができます。

■ 静止画・コマ送り再生

静止画にしたり、1コマずつ再生することができます。

■ スロー再生

スローで再生することができます。

■ マルチアスペクト

ワイド画面、レターボックス、パンスキャンの中からお好みに合わせて画面サイズを選ぶことができます。

■ マルチ音声

DVDに収録してある複数の音声の中から、お好みの音声に切り換えて楽しむことができます。

■ マルチ字幕

DVDに収録してある複数の字幕の中から、お好みの字幕に切り換えて楽しむことができます。

■ マルチアングル

DVDに収録してある複数のアングルの中から、お好みのアングルに切り換えて映像を楽しむことができます。

PBC付きビデオCD対応

PBC（プレイバックコントロール）付きビデオCDでは、メニュー画面を使って再生することができます。

視聴制限（パレンタルロック）

成人向けの内容や暴力シーンなど子供に見せたくない場面の視聴に制限をかけることができます。

ドルビーデジタル/DTS対応

当社の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」と組み合わせると、5.1チャンネルで収録された映画/音楽のDVDを臨場感豊かに再現することができます。



Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
DTSは米国Digital Theater Systems, Inc.の登録商標です。

著作権について

本機は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

—目次—

安全のために必ずお守りください
絵表示について
安全上のご注意
ディスク切り換えについて
安全走行のために
リア映像出力に接続したモニターの
使用について
バッテリー上がりを防ぐために
モードスイッチの切り換えについて
この説明書の構成
こんなことができます

はじめに

使用上の注意	10
取り扱い上のご注意 保管上のご注意 お手入れについて ディスク再 生の環境について	
再生できるディスクの種類	11
ディスクの操作について	
DVDについて	12
使用できるDVDについて DVDに表示されているマークの意味	
「Dual Disc」の再生について	13
CDについて	13
使用できるCDについて	
MP3/WMAファイルについて	14
MP3とは？ 再生できるMP3ファイルについて WMAとは？ 再 生できるWMAファイルについて フォルダとMP3/WMAファイルに ついて	
「CD TEXT」について	17
ディスクの構成について	18
DVD ビデオCDまたはCD	
本機のリセットについて	19
リセットのしかた	
リモコンの準備	20
リモコンに電池を入れる	
各部のなまえと主な働き	21
DVDプレーヤー リモコン	

基本的な操作

電源を入れる/切る	24
電源を入れる 電源を切る	
ディスクの挿入/取り出し	26
ディスクの挿入 ディスクの取り出し	
ディスク(DVD・ビデオCD・CD・MP3/WMA)の再生	28
ディスクの選択と再生 メニュー画面の操作と再生	
チャプター/トラックを進める/戻す	30
次のチャプター/トラックに進める 前のチャプター/トラックに戻す	
タイトル/チャプター/トラックを指定する(ダイレクトサーチ) [DVD] [Video CD] ..	30
タイトルを指定する チャプターを指定する トラックを指定する	
ディスクを早送り/早戻しする	32
早送りする 早戻しする	
ディスクを切り換える	33
再生を止める	33

いろいろな再生

お気に入りの場面を登録する (ブックマーク) [DVD]	34
静止画/コマ送り/スロー再生 [DVD] [Video CD]	35
静止画再生 (映像を止めて見る) コマ送り再生 (映像を1コマ送りで見るとスロー再生 (映像をスローで見ると))	
再生中に音声言語を切り換える (マルチ音声) [DVD]	36
再生中に音声の出力方法を切り換える [Video CD]	36
再生中に字幕言語を切り換える (マルチ字幕) [DVD]	37
再生中にアングルを切り換える (マルチアングル) [DVD]	37
指定された場面に戻る [DVD]	38
自動再生 [DVD]	38

情報画面で操作する

情報画面の表示のしかた [DVD]	40
情報画面1での操作 [DVD]	41
見たい場面から再生する 音声/字幕/アングルの切り換え	
情報画面2での操作 [DVD]	43
再生範囲の切り換え 音声の出力方法の切り換え	
情報画面の表示のしかた [Video CD]	45
情報画面での操作 [Video CD]	46
見たい場面から再生する 再生範囲の切り換え 音声の出力方法の切り換え	
情報画面の表示のしかた [CD]	49
情報画面1での操作 [CD]	50
聞きたい場所から再生する 再生範囲の切り換え ランダム再生のオン/オフ スキャン再生のオン/オフ	
情報画面2での操作 [CD]	53
タイトル表示/タイトルスクロール	
情報画面の表示のしかた [CD]	54
情報画面1での操作 [MP3/WMA]	55
聞きたい場所から再生する 再生範囲の切り換え ランダム再生のオン/オフ スキャン再生のオン/オフ	
情報画面2での操作 [MP3/WMA]	58
タイトル表示/タイトルスクロール	
ディスクリストでの操作	59

初期設定を変える

初期設定メニューを表示する [DVD]	60
基本字幕の設定 [DVD]	61
基本音声の設定 [DVD]	63
メニュー言語の設定 [DVD]	65
アシスト字幕の設定 [DVD]	67
マルチアングルマーク表示の設定 [DVD]	68
画面の縦横比の設定 [DVD]	69
視聴制限の設定 [DVD]	71
暗証番号とレベルの設定 レベルの変更 暗証番号を忘れたときは	
デジタル出力の設定 [DVD]	74
音声出力の設定 (デジタル/アナログ共通) [DVD]	75

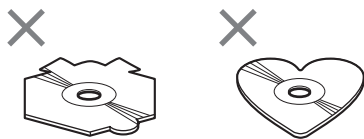
その他

メインユニットからの操作	76
言語コード表 [DVD]	78
用語解説	79
故障かな?と思ったら	82
こんなメッセージが表示されたら	86
保証書とアフターサービス	87
仕様	88

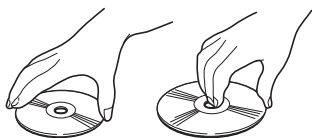
使用上の注意

取り扱い上のご注意

- ひび、キズ、そりのあるディスクは使用しないでください。
- 特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



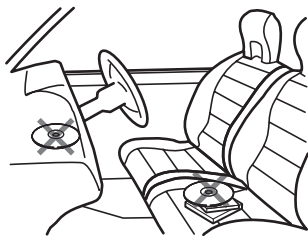
- ディスクは、下図のように、信号記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。



- ディスクにキズを付けないでください。
- ディスクにシールなどを張り付けないでください。

保管上のご注意

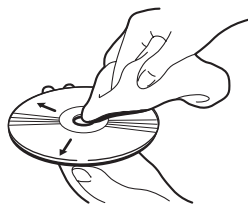
- 直射日光の当たるところや高温になるところには、ディスクを保管しないでください。



- ディスクがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布でディスクの内周から外周方向へ軽くふいてください。



- アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。


ディスク再生の環境について

- 走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。
- 寒いとき、ヒーターを入れた直後に再生を始めると、本機内部の光学系レンズやディスクに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布で拭いてください。


- 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

再生できるディスクの種類

- 下表のマークはディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。
- 本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
-  はDVDフォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ/再生面	最大再生時間
DVDビデオ 	12cm/片面 1層	(MPEG 2方式) 133分
	2層	242分
	12cm/両面 1層	266分
	2層	484分
ビデオCD 	12cm/片面	(MPEG 1方式) 74分
CD 	12cm/片面	74分

ディスクの操作について

DVDによっては、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や、再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル/チャプターの構成上、リピートなど一部の操作ができないことがあります。このような場合、本機では画面に （禁止マーク）が表示されます。ただしディスクによっては、表示されないこともあります。

DVDについて

使用できるDVDについて

- DVDビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合があります。
- DVDビデオディスクによっては、再生できない場合があります。
- DVDオーディオやDVD-ROMなどは再生できません。本機で再生できるのは、11ページに記載されているマークの付いたディスクのみです。
- DVDビデオディスクでも、リージョン番号（80ページ）が異なるディスクは再生できません。
- DVD-R/DVD-RWディスクは、ビデオフォーマット（ビデオモード）で記録されたものに限り、再生することができます。ビデオレコーディングフォーマット（VRモード）で記録されたDVD-RWディスクは再生できません。
- ビデオフォーマット（ビデオモード）で記録されたDVD-R/DVD-RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- ファイナライズされていないDVD-R/RWディスクには対応していません。
- 本機は、12 cmディスクだけに対応しています。8 cmディスクは再生できません。

12 cmディスク	○
8 cmディスク	×
8 cmディスク用トレイ	×

DVDに表示されているマークの意味



音声の数を表示します。



字幕の数を表示します。



アングルの数を表示します。



画面サイズ（アスペクト比：横と縦の比率）の種類を表示します。



再生可能な地域番号（リージョン番号）を表示します。本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など、「2」を含んでいるディスクを再生することができます。

「Dual Disc」の再生について

- 「DualDisc」は、片面にDVD規格準の映像やオーディオが、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- 「DualDisc」のDVDの面は再生可能です。
- DVD 面ではないオーディオ面は、一般的なCDの物理的規格に準拠していないために再生できないことがあります。
- 「DualDisc」を再生機器に挿入をしたり、取り出しをしたりするときに再生面の反対側の面に傷がつく場合があります。傷が付いた面は再生すると不具合がでる場合があります。
- ディスクを取り出せないといった不具合が起こる可能性がありますので「DualDisc」はご使用にならないでください。
- 「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

CDについて

使用できるCDについて

- 本機は音楽CD規格に準拠して設計されています。コピーコントロールCDなどのCD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。
- 音楽用CDレコーダーまたはパソコンで記録した CD-R/CD-RWディスクは、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては、再生できない場合があります。（詳細については、アプリケーションソフトの発売元にお問い合わせください。）
- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、CD-R/CD-RWディスクは再生できなくなる場合があります。
- CD-R/CD-RWディスクに記載されているタイトルなどの文字情報は、本機では表示されない場合があります（音楽データ (CD-DA) 再生時）。
- ファイナライズされていないCD-R/CD-RWディスクには対応していません。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。
- CD-R/CD-RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

MP3/WMAファイルについて

MP3とは？

- MPEG Audio Layer 3の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。(81ページ)
- 本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ <http://www.mp3licensing.com>をご覧ください。
- 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビをはじめとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットをはじめとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

再生できるMP3ファイルについて

- MP3ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.mp3) を付けてください。
- 本機は、拡張子 (.mp3) が付いているファイルをMP3ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3ファイル以外には拡張子 (.mp3) を付けないでください。
- ID3 Tag (81ページ) のVer1.0/1.1/2.2/2.3のアルバム名、曲名、アーティスト名の表示に対応しています。なお、ID3 tagのVer 1.XとVer 2.Xが混在している場合は、Ver 2.Xが優先されます。

- サンプル周波数が32/44.1/48 kHzのMP3ファイルを再生している場合のみ、エンファシスに対応します。(なお、再生可能なサンプル周波数は16/22.05/24/32/44.1/48 kHzです。)
- 一般的にMP3ファイルは、ビットレート(79ページ)が高いほど音質は良くなります。本機は、8 kbps～320 kbpsのMP3ファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しむていただくためには、128 kbps以上のビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

WMAとは？



- 外装箱に印刷された、Windows Media™のロゴは、本機がWMAデータの再生に対応していることを示しています。
- WMAとは、Windows Media Audioの略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。
- Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

再生できるWMAファイルについて

- WMAファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.wma) を付けてください。
- 本機は、拡張子 (.wma) が付いているファイルをWMAファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMAファイル以外には拡張子 (.wma) を付けないでください。
- 本機では、Windows Media Player Ver.7または8を使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。

- 再生可能なWMAファイルのサンプリング周波数は32/44.1/48 kHzです。
- 一般的にWMAファイルは、ビットレート (79ページ) が高いほど音質は良くなります。本機は、48 kbps～192 kbpsのビットレートで記録されたWMAファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ高いビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。
- VBR (可変ビットレート) で記載されたWMAファイルは再生できません。
- デジタル著作権保護 (DRM) で保護されたファイルを再生したときは、「TRACK SKIPPED」と画面に表示され、そのファイルの再生がスキップされます。
- ディスク内のすべてのファイルがデジタル著作権保護 (DRM) で保護されている場合は、「PROTECTED CD」と表示され、そのディスクは再生できません。

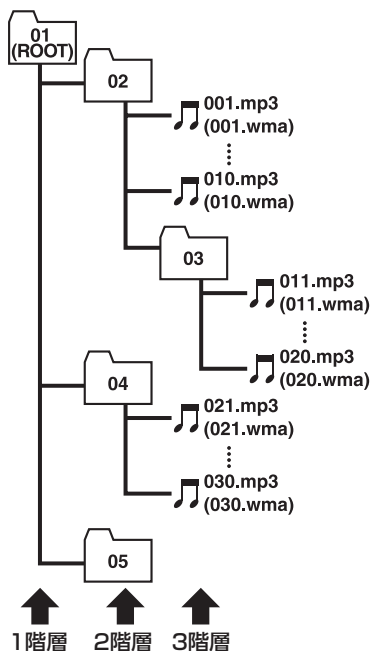
- この製品は、次の形式には対応していません。

- Windows Media Audio 9 Professional (5.1 ch)
- Windows Media Audio 9 Lossless (可逆圧縮)
- Windows Media Audio 9 Voice

MP3/WMAファイルについて(つづき)

フォルダとMP3/WMAファイルについて

- MP3/WMAファイルを収録したCD-R/CD-RW/CD-ROMのイメージは下図のようになります。



- 本機はMP3/WMAファイルが記録されたCD-R/CD-RW/CD-ROMの再生に対応しています。ディスクは、ISO9660のレベル1、レベル2および拡張フォーマット (Joliet、Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です(81ページ)。
- 本機はマルチセッション (80ページ) 方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライト (79ページ) には対応していません。● m3u (81ページ) のプレイリストには対応していません。

- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、およびMP3 PROフォーマットには対応していません。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子 (.mp3, .wma) を含めて48文字です。また、フォルダ名の最大表示文字数は48文字です。表示できる文字の種類は英数字と記号だけです。
- 拡張フォーマット (Romeo) (81ページ) に準拠して記録されたファイルの場合、先頭から48文字までの表示に対応しています。
- 再生などの操作でフォルダが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。
- 曲間 (トラック間) にブランクがないCDを、MP3/WMAファイルとしてCD-R/CD-RW/CD-ROMに記録して再生した場合、曲間が音飛びしたように聞こえます。

- ・フォルダ番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。
- ・CD-R、CD-RW、CD-EXTRA、MIXED-MODE CDディスクにMP3/WMAファイルと、音楽データ (CD-DA) が混在しているときは、MP3/WMAファイルと音楽データ (CD-DA) を切り換えることができます。MP3/WMAファイルと音楽データ (CD-DA) を切り換えた場合、再生は一番先頭の曲から始まります。
- ・MP3/WMAファイルを含まないフォルダは認識しません。(フォルダ番号を表示せず、スキップします。)
- ・ディスクに含まれるフォルダの合計が253個まで再生可能です。

「CD TEXT」について

- 本機は、「CD TEXT」の再生に対応しています。
- 「CD TEXT」は、CDのタイトルや歌手名などの文字情報が収録されているCDです。ディスクタイトル面に下記のマークの付いているCDは「CD TEXT」ディスクです。下記マークの付いていない「CD TEXT」ディスクもあります。
- 本機の「CD TEXT」文字表示は、英数字と記号だけに対応しています。



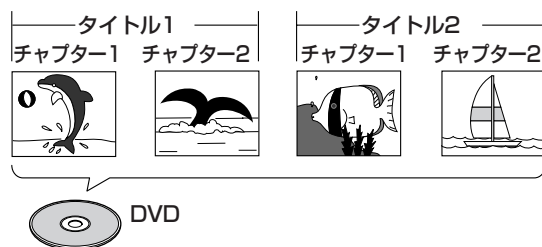
ディスクの構成について

DVD

DVDビデオでは内容をタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。

映画などではふつう1つの作品が1つのタイトルに対応していて、場面ごとにチャプターで分けられています。カラオケディスクでは、1曲が1タイトルとなっています。

ただし、このような構成(区切りのしかた)になっていないディスクもありますので、サーチ機能を使用する際は、構成の違いにご注意ください。

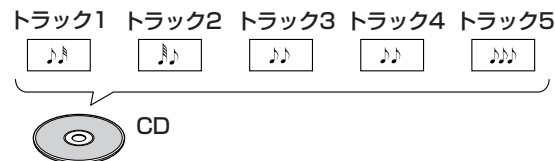


ビデオCDまたはCD

CDまたはビデオCDではディスクをトラックという単位で分けています。

一般的には1曲が1つのトラックに対応しています。また、さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります。

PBC (プレイバックコントロール) 付きビデオCDでは、メニュー画面を使って再生することができます。この場合、リピートやサーチ機能など一部の操作ができないことがあります。



本機のリセットについて

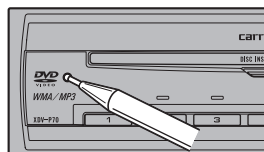
リセットボタンを押すと、本機のマイコンを初期化することができます。
次のようなときに、リセットボタンを押してください。

- 接続が終わったあと
- ハイダウェイユニットの側面にあるモードスイッチを切り換えたとき
- 本機が正しく動作しないとき
- モニターが正しく表示されないとき

リセットのしかた

1 エンジンスイッチをOFFにする

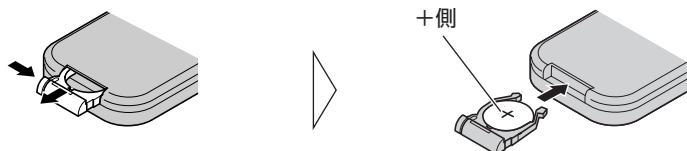
2 リセットボタンを押す
ペン先などで押してください。



リモコンの準備

リモコンに電池を入れる

電池ホルダーを取り出し、リチウム電池（CR2025）を図のようにしてセットします。はじめてお使いになるときは、電池ホルダー部から出ているフィルムを引き抜いてください。電池があらかじめセットされていますので、すぐにお使いいただくことができます。



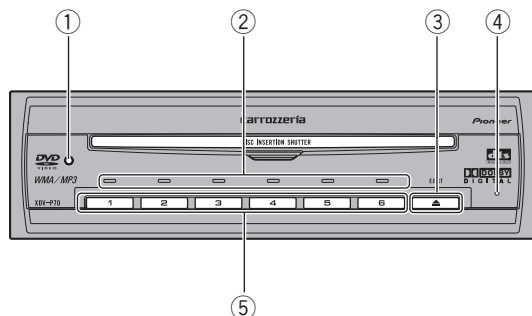
- リモコンの操作可能範囲が狭くなってきたときは、新しい電池と交換してください。

リモコン取り扱い上のご注意

- リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障することがあります。使用しないときは、グローブボックスなど直射日光の当たらないところに保管してください。
- リモコン受光部に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないことがあります。
- 付属の電池は充電できません。
- リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。取り出した電池は幼児の手の届かないところに保管してください。
- 電池の液もれが起こったときは、内部に付着した液をよく拭き取ってから、新しい電池と入れ換えてください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

各部のなまえと主な働き

DVDプレーヤー



① リセットボタン

本機を初期設定状態（ご購入直後の状態）に戻すときに押します（19ページ）。

② ディスク（ホルダー）インジケーター

ディスクやホルダーの状態を表示します（26ページ）。

③ ▲ボタン

ディスクを取り出すときに押します。
すべてのディスクを取り出すときには、
2秒以上押します。

④ 電源インジケーター

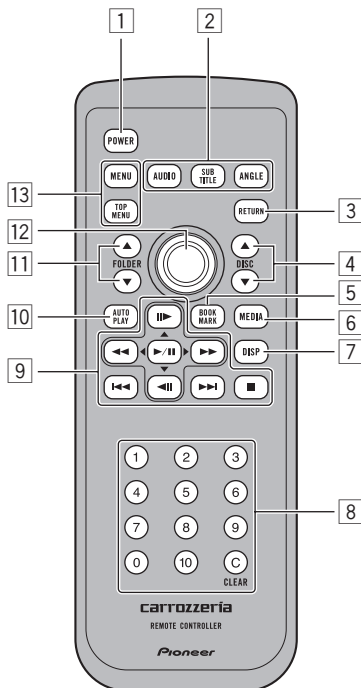
電源が入っているときに点灯します。

⑤ 1～6のボタン

ディスク（ホルダー）を選ぶときに押します。

各部のなまえと主な働き(つづき)

リモコン



- 1 **POWERボタン**
電源を入れる/切るときに押します (24ページ)。

- 2 **AUDIOボタン**
DVDの再生中に、音声言語を切り換えるときに押します (36ページ)。
また、ビデオCD再生中に、音声の出力方法を切り換えるときに押します (36ページ)。

- サブタイトル
SUBTITLEボタン
DVDの再生中に、字幕言語を切り換えるときに押します (37ページ)。

- アングル
ANGLEボタン
DVDの再生中に、アングルを切り換えるときに押します (37ページ)。

- リターン
3 **RETURNボタン**
DVDビデオで、あらかじめ指定されている場面に戻るときに押します (38ページ)。
ビデオCDでPBC (プレイバックコントロール) 再生中に、メニュー画面を表示するときに押します (29ページ)。

- 4 **▲/▼ボタン (DISC)**
次/前のディスクを選ぶときに押します。

- 5** ブックマーク
BOOKMARKボタン
ブックマークを登録するときに押します
(34ページ)。削除するときには、2秒
以上押します。

- 6** メディア
MEDIAボタン
MP3/WMA ファイルと音楽データ(CD-
DA) が混在しているディスクの場合、
MP3/WMA ファイルと音楽データ(CD-
DA) を切り換えて再生するときに押し
ます。
また、MP3/WMAが収録されたディスク
の再生中、フォルダ01 (ROOT) に戻る
ときに2秒以上押します。ただし、フォ
ルダ01 (ROOT) にファイルがない場合
は、次のフォルダから再生が始まります。

- 7** ディスプレイ
DISPボタン
情報画面を切り換えるときに押します
(40～59ページ)。

- 8**
0～10のボタン
トラックやチャプター、フォルダを指定
するときに押します。

クリア

Cボタン

入力した数字を取り消すときに押し
ます。

- 9**
再生/一時停止 (▶/⏸) ボタン
再生とポーズを切り換えるときに押し
ます。

早戻し (◀◀) ボタン

早戻しするときに押します。

早送り (▶▶) ボタン

早送りするときに押します。

チャプター (◀◀) ボタン

前のトラック(チャプター) に戻るとき
に押します。

チャプター (▶▶) ボタン

次のトラック(チャプター) に進むとき
に押します。

⏮/⏭ボタン

DVD/ビデオCDの再生中に、コマ送
り/スロー再生するときに押します
(35ページ)。

■ボタン

再生を止めるときに押します。

オートプレイ

- 10** **AUTO PLAYボタン**

自動再生機能をON/OFFするときに押し
ます (38ページ)。

- 11** **▲/▼ボタン (FOLDER)**

次/前のタイトルまたはフォルダを選ぶ
ときに押します。

- 12** **ジョイスティック**

項目を選択/決定するときなどに押し
ます (28ページ、40～75ページ)。

- 13**

メニュー

MENUボタン

DVDの再生中に、メニューを表示する
ときに押します (28ページ)。

トップメニュー

TOP MENUボタン

DVDの再生中に、最上位メニューを表
示するときに押します (28ページ)。

電源を入れる/切る

電源を入れる

■IP BUSモードの場合

1 モニターの映像ソースを本機に切り換える
詳しくは、接続した機器の説明書をご覧ください。

2 メインユニットのSOURCEボタンを押す
マルチDVDプレーヤーになるまで繰り返し押すと、ディスクの再生が始まります。

- ディスクによっては、メニュー画面が表示される場合があります (28ページ)。

■STAND ALONEモードの場合

1 モニターの映像ソースを本機に切り換える
詳しくは、接続した機器の説明書をご覧ください。

2 POWERボタンを押す



本機の電源が入り、ディスクの再生が始まります。
DVDプレーヤーの電源インジケータまたはリモコン受光部のインジケータが点灯します。


- ディスクによっては、メニュー画面が表示される場合があります (28ページ)。

電源を切る

■IP BUSモードの場合

- 1 メインユニットのSOURCEボタンを1秒以上押す
メインユニットの電源が切れます。

■STAND ALONEモードの場合

- 1  POWERボタンを押す
本機の電源が切れます。
DVDプレーヤーの電源インジケーターまたはリモコン受光部のインジケーターが消灯します。

IP BUSモードでリアモニターを使用している場合

- メインユニットでマルチDVDプレーヤー以外のソースを選んでいる場合でも、POWERボタンで本機の電源を入ると、リアモニターで本機の映像を見ることができます。
- メインユニットのオン/オフにかかわらず、本機の電源を入/切することができます。

IP BUSモードでのご注意

- POWERボタンを押して本機の電源を入れたときは、メインユニットの電源を切っても本機の電源は切れません。この場合、本機の電源を忘れずに切るようにしてください。モニターをDVDの映像にしてから、本機の電源を切ると、本機の電源が切れたことを確認することができます。

ディスクの挿入/取り出し

ディスクの挿入

本機には、ディスクを6枚まで挿入できます。ディスクはそれぞれ、ホルダーに収納されます。ディスクを挿入するときには、ホルダーを指定できます。

1 DVDプレーヤーにある1～6のボタンのひとつを押して、ディスクを収納するホルダーを選ぶ

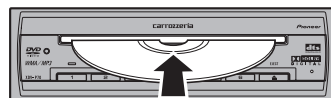
それぞれのホルダーには対応するインジケーターがあります。このインジケーターは、ディスクやホルダーの状態を表します。ディスク/ホルダーの状態とインジケーターの関係は次のとおりです。

ディスク/ホルダーの状態	インジケーター
ホルダーが空	消灯
ホルダーを選択中	青色で点滅
ディスクを挿入可能	赤色で点滅
ディスクをホルダーに収納中	赤色で点滅
ディスクをホルダーに収納済み	青色で点灯
ディスクをホルダーに収納済みで、そのホルダーを選択中	赤色で点灯
ディスクを切り換え中	赤色で点滅
ディスクを排出中	赤色で点滅

- ディスクが収納されているホルダーに別のディスクを収納するときは、まず収納中のディスクを取り出してください。

2 ディスクをディスク挿入口に差し込む

手順1で選んだホルダーにディスクが収納されて、対応するインジケータが赤で点灯します。挿入したいディスクの収納が終わるまで、手順1～2を繰り返します。



- DVDの自動再生機能（38ページ）がONのときは、DVDメニューを表示せずに最初のタイトルから再生を開始します。

- 本機は、12 cmディスクだけに対応しています。8 cmディスクは再生できません。

12 cmディスク	○
8 cmディスク	×
8 cmディスク用トレイ	×

- ディスク挿入口には、ディスク以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因になります。再生できるディスクについては、11ページを参照してください。
- ディスクを途中でしか挿入できないときや、ディスクを挿入しても再生できないときは、ラベル面が上になっているか確認してください。ディスクを取り出すには、▲を押します。再び挿入する前に、ディスクにキズがないか確認してください。
- ERROR-05などのエラーメッセージが表示されたときは、86ページを参照してください。
- DVDのブックマーク機能で場面を登録している場合、その場面から再生を開始します。ブックマーク機能については、34ページを参照してください。
- 本機は、ディスクを自動では切り換えない仕様になっています。再生するディスクを切り換えるには、▲/▼ボタン（DISC）またはDVDプレーヤーにある1～6のボタンを押してください。

ディスクの取り出し

取り出すディスクを指定できます。

1 DVDプレーヤーにある1～6のボタンのひとつを押して、取り出すディスクを指定する

それぞれのホルダーには対応するインジケーターがあります。インジケーターについては、前ページを参照してください。

2 ▲を押す

ディスクが排出されます。

- ▲を2秒以上押すと、収納されているすべてのディスクを続けて取り出すことができます。
- ディスクの排出をやめるときは、▲をもう一度押してください。

ディスク (DVD・ビデオCD・CD・MP3/WMA) の再生

ディスクの選択と再生

1 DVDプレーヤーにある1～6のボタンのひとつを押して、再生したいディスクを選ぶ

再生が始まります。

- それぞれのホルダーには対応するインジケーターがあります (26ページ)。
- 選べるディスクのホルダーのインジケーターは青で点灯しています。ディスクが収納されていないホルダーは選べません。
- ▲/▼ボタン (DISC) でも、ディスクを選べます。
- DVDやビデオCDの場合、メニューが表示されるディスクもあります。
- 本機は、ディスクを自動では切り換えない仕様になっています。再生するディスクを切り換えるには、1～6のボタンをまたは▲/▼ボタン (DISC) を押してください。

メニュー画面の操作と再生



メニュー画面付きDVDやプレイバックコントロール (PBC) 機能付きビデオCDの再生を開始すると、メニュー画面が表示されます。

■DVDのとき

1



ジョイスティックを操作して、メニューを選ぶ

Main Menu

- 1 Highlight Clips
- 2 Chapter List
- 3 予告編
- 4 字幕
- 5 音声
- 6 本編Start

2



ジョイスティックを押す
選んだメニューから再生されます。

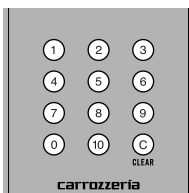
●メニュー画面を表示するには

再生中にMENUボタンまたはTOP MENUボタンを押すことで、メニュー画面を表示することができます。もう一度押すと、メニュー画面に切り換えた場面から再生することができます。詳しくは、ディスクに添付されている説明書をご覧ください。

- メニュー表示や操作方法は、ディスクによって異なります。
- DVDの中には、0～10のボタンでメニュー画面の操作ができるものもあります。

■ビデオCDのとき

1



0～10のボタンを押して、メニューを選ぶ

選んだメニューから再生されます。

1 ポップス

2 ジャズ

3 演歌

4 カラオケ

5 クラシック

3を選ぶには、3を押します。

10を選ぶには、順に1、0を押します。

23を選ぶには、順に2、3を押します。

10先を選ぶには、10を押します。

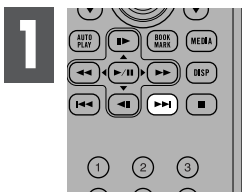
●メニュー画面を表示するには

PBC再生中にRETURNボタンを押すことで、メニュー画面を表示することができます。詳しくは、ディスクに添付されている説明書をご覧ください。

- 入力した数字を取り消すには、Cを押します。
- メニュー画面が2ページ以上あるときは、スキップ (◀◀ または ▶▶) ボタンを押して表示を切り換えます。
- PBC再生をオフにすることはできません。
- ジョイスティックでは、操作できません。

チャプター/トラックを進める/戻す

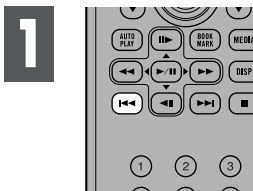
次のチャプター/トラックに進める



再生中にスキップ (▶▶) ボタンを押す

チャプター/トラックナンバーが約8秒間表示され、次のチャプター/トラックに進みます。

前のチャプター/トラックに戻す



再生中にスキップ (◀◀) ボタンを押す

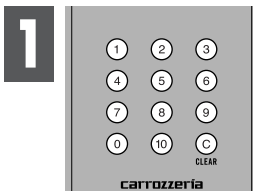
チャプター/トラックナンバーが約8秒間表示され、再生中のチャプター/トラックの初めに戻ります。

連続して2度操作すると、1つ前のチャプター/トラックの初めに戻ります。

タイトル/チャプター/トラックを指定する (ダイレクトサーチ)



タイトルを指定する



停止中に、見たいタイトル番号の数字ボタンを押す

タイトルナンバーが約4秒間表示され、指定したタイトルから再生されます。

3を選ぶには、3を押します。

10を選ぶには、順に10、0を押します。

23を選ぶには、順に10、10、3を押します。

- 入力した数字を取り消すには、Cを押します。

チャプターを指定する



1



再生中に、見たいチャプター番号の数字ボタンを押す

チャプターナンバーが約8秒間表示され、指定したチャプターから再生されます。

3を選ぶには、3を押します。

10を選ぶには、順に10、0を押します。

23を選ぶには、順に10、10、3を押します。

- 入力した数字を取り消すには、Cを押します。

トラックを指定する



1



再生中に、見たいトラック番号の数字ボタンを押す

トラックナンバーが約8秒間表示され、指定したトラックから再生されます。

3を選ぶには、3を押します。

10を選ぶには、順に1、0を押します。

23を選ぶには、順に2、3を押します。

10先を選ぶには、10を押します。

- 入力した数字を取り消すには、Cを押します。
- ディスクによっては、Ⓢ (禁止マーク) が表示され、操作できないことがあります。
- ビデオCDでは、PBC再生中にダイレクトサーチをすることはできません。

ディスクを早送り/早戻しする

早送りする

1



再生中に早送り (▶▶) ボタンを押し続ける

押し続けている間 ▶▶ (早送りマーク) が表示され、ディスクが早送りされます。

2

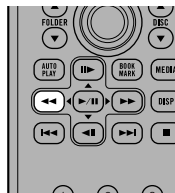
見たい/聞きたい場所でボタンから手を離す

その場所から再生されます。

- DVDまたはビデオCDの場合、早送り (▶▶) ボタンを5秒以上押すと、▶▶ (早送りマーク) の表示が白色から青色に切り換わり、ボタンから手を離しても早送りが継続されます。見たい/聞きたい場所で再生/一時停止 (▶/||) ボタンを押すと、その場所から再生されます。
- ディスクによっては、早送りできない場所があります。その場所になると自動的に通常再生に切り換わります。
- 早送り中は、音声は再生されません。

早戻しする

1



再生中に早戻し (◀◀) ボタンを押し続ける

押し続けている間 ◀◀ (早戻しマーク) が表示され、ディスクが早戻しされます。

2

見たい/聞きたい場所でボタンから手を離す

その場所から再生されます。

- DVDまたはビデオCDの場合、早戻し (◀◀) ボタンを5秒以上押すと、◀◀ (早戻しマーク) の表示が白色から青色に切り換わり、ボタンから手を離しても早戻しが継続されます。見たい/聞きたい場所で再生/一時停止 (▶/||) ボタンを押すと、その場所から再生されます。
- ディスクによっては、早戻しできない場所があります。その場所になると自動的に通常の再生に切り換わります。
- 早戻し中は、音声は再生されません。

ディスクを切り換える

1



▲/▼ボタン (DISC) を押す

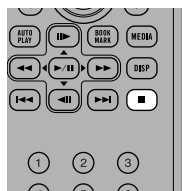
ディスクリスト (59ページ) が表示され、ディスクが切り換わります。

再生したいディスクに切り換わるまで、この操作を繰り返します。

- 空のディスクホルダーを飛ばして、ディスクが切り換わります。
- ディスクを切り換えると、自動的にそのディスクの再生を開始します。

再生を止める

1



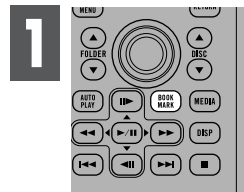
停止 (■) ボタンを押す

- 停止 (■) ボタンで再生を停止したDVDやビデオCD (PBC再生時のみ) は、停止した場所を記憶します。そのディスクを次に再生したとき、記憶している前回の停止場所から再生することができます。
- 停止場所の記憶は、ディスクを切り換えたり、POWERボタンで本機の電源を入/切したりすると消去されます。

お気に入りの場面を登録する（ブックマーク）



お気に入りの場面を本機に登録して、次に再生するときその場面から再生することができます。



再生中にBOOKMARKボタンを押す

選んだ場面が登録され、次に再生をするときにその場面から再生を開始します。

- 本機に登録できる場面の数は1枚のディスクにつき1場面です。6枚を超えるディスクで登録する場合、いちばん古いディスクの登録が消えて、新しいディスクの登録に置き換わります。
- 登録した場面を消去するには、消去したい場面を含むディスクを再生しているときに、BOOKMARK ボタンを2秒以上押します。

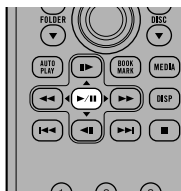
静止画/コマ送り/スロー再生

D_{VD}Video
CD

静止画再生 (映像を止めて見る)

再生中の映像を一時停止して、静止画として見ることができます。

1



再生中に再生/一時停止 (▶/II) ボタンを押す

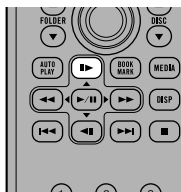
II (静止マーク) が表示され、映像が一時停止します。

通常の再生に戻るには、もう一度再生/一時停止 (▶/II) ボタンを押します。

コマ送り再生 (映像を1コマ送りで見る)

再生中の映像を1コマずつ止めながら、進めて見るすることができます。

1



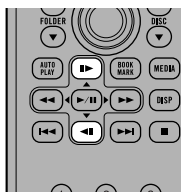
再生中にコマ送り (II▶) ボタンを押す

コマ送り (II▶) ボタンを押すごとに、映像が1コマ送られます。
通常の再生に戻るには、再生/一時停止 (▶/II) ボタンを押します。

スロー再生 (映像をスローで見る)

再生のスピードを遅くして見るすることができます。

1



再生中にコマ送り (II▶) ボタンを1秒以上押す

II▶ (スロー再生マーク) が表示され、映像がスローで再生されます。
スロー再生中にコマ送り (II▶) ボタンまたはコマ戻し (◀II) ボタンを押すことで、その速度を4段階(1/16 ↔ 1/8 ↔ 1/4 ↔ 1/2) に調節することができます。

通常の再生に戻るには、再生/一時停止 (▶/II) ボタンを押します。

- ・ 戻り方向のコマ送り再生とスロー再生はできません。
- ・ 静止画/コマ送り/スロー再生中に音声を聞くことはできません。
- ・ ディスクまたは再生位置によっては、⊙ (禁止マーク) が表示され、静止画/コマ送り/スロー再生ができないことがあります。
- ・ ディスクによっては、コマ送り/スロー再生時に映像が乱れることがあります。

いろいろな再生

再生中に音声言語を切り換える (マルチ音声)


言語や音声タイプ (ドルビーデジタルやDTSなど) の違いで複数の音声 that 収録されているDVDでは、再生中に音声を切り換えることができます。

1



再生中にAUDIOボタンを押す

ボタンを押すごとに、音声が切り換わります。

- この機能は、音声 that 複数収録されている場合 only 有効です。
- DVDのパッケージに付いている  マークの数字が、収録音声の数を表しています。
- ディスクによっては、DVDに収録されているメニュー画面でしか切り換えることができない場合があります。
- 音声言語は、初期設定画面でも切り換えることができます。詳しくは、「基本音声の設定」(63ページ) を参照してください。
- DTS 音声は、デジタル出力 only 対応しています。
- 本機の光デジタル出力を接続していない場合、DTS 音声は出力されませんので、DTS以外の音声を選んでください。
- 「Dolby D」や「5.1ch」などの表示は、DVDに収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

再生中に音声の出力方法を切り換える

音声の出力方法をステレオまたはモノラルに切り換えることができます。

1



再生中にAUDIOボタンを押す

ボタンを押すごとに、音声の出力方法が切り換わります。

L+R (ステレオ) → L (左)
↑ R (右) ↓

再生中に字幕言語を切り換える (マルチ字幕) (DVD)


複数の字幕が収録されているDVDでは、再生中に字幕を切り換えることができます。

1



再生中にSUBTITLEボタンを押す

ボタンを押すごとに、字幕が切り換わります。


- この機能は、字幕が複数収録されている場合だけ有効です。
- DVDのパッケージに付いている  マークの数字が、収録字幕の数を表しています。
- ディスクによっては、DVDに収録されているメニュー画面でしか切り換えることができない場合があります。
- 字幕は初期設定画面でも切り換えることができます。詳しくは、「基本字幕の設定」(61ページ) を参照してください。

再生中にアングルを切り換える (マルチアングル) (DVD)

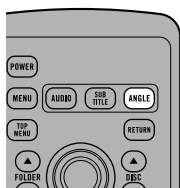
複数の角度 (アングル) から撮影した映像が収録されているDVDでは、再生中にアングルを切り換えることができます。



●アングル切り換えができる場面について



本機では、複数のアングルが収録されている場面を再生すると、アングル選択マーク () を表示して知らせます。

1



再生中にANGLEボタンを押す

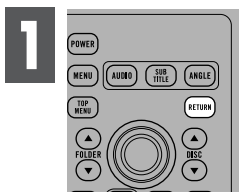
ボタンを押すごとに、アングルが切り換わります。

- この機能は、アングルが複数収録されている場合だけ有効です。
- マルチアングル収録されたDVDのパッケージには  マークが付いています。
-  マークの数字が、収録アングルの数を表しています。
- 早送り/早戻し中、一時停止中またはスロー再生中にANGLEボタンを押すと、通常再生に戻ります。

指定された場面に戻る



DVDであらかじめ指定されている場面に戻ることができます。



RETURNを押す

指定された場面に戻ります。

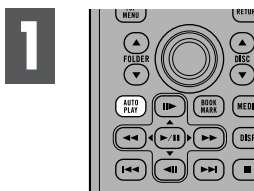
- 戻るシーンが指定されていないDVDでは、この機能は無効です。

自動再生



メニュー画面付きDVDで、メニュー画面を表示せずに最初のタイトルの最初のチャプターから自動で再生することができます。

- DVDの中には、この機能が正しく働かないものもあります。その場合は、自動再生をOFFにして再生してください。



AUTO PLAYを押す

自動再生がONになります。

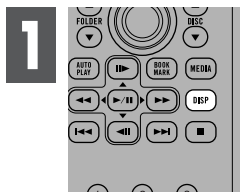
OFFにするには、AUTO PLAYをもう一度押します。

- 自動再生がONのとき、再生範囲がDiscに設定されます。再生範囲の切り換え（43ページ）はできません。

いろいろな再生

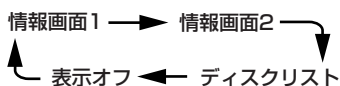
情報画面の表示のしかた

DVDの情報画面では、タイトルやチャプター、時間を指定して見たい場面から再生したり、リピート（繰り返し）再生の範囲を切り換えたりするなど、DVD再生のほとんどの操作が行えます。また、音声や字幕の切り換えもできます。



DISPボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順で表示が切り換わります。



- タイトル、チャプターおよび時間の指定は、情報画面1または2のどちらでもできます。この説明書では、タイトル、チャプターおよび時間の指定については、情報画面1の操作で説明しています。
- 早送り/早戻し中にDISPボタンを押すと、通常の再生になります。

情報画面1での操作

見たい場面から再生したり、音声/字幕言語/アングルを切り換えたりすることができます。

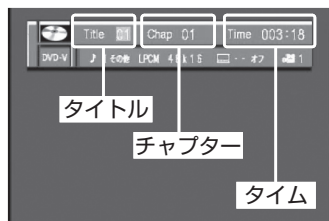
見たい場面から再生する

見たい場面から再生する機能には、タイトルまたはチャプターを指定するタイトル/チャプターサーチと時間を指定するタイムサーチがあります。

1



ジョイスティックを左右に操作して、項目を選ぶ
選んだ項目が青色で表示されます。



2

希望の番号の数字ボタンを押す

タイトル/チャプターサーチの場合

3を選ぶには、3を押します。

10を選ぶには、順に1、0を押します。

23を選ぶには、順に2、3を押します。

選ばれているタイトルまたはチャプターから10進めたい場合には、10を押します。

タイムサーチの場合

21分43秒を選ぶには、順に2、1、4、3を押します。

1時間11分を選ぶには、分に換算して順に7、1、0、0を押します。


選んだ時間から10秒ずつ進めたい場合には、10を続けて押します。

- 入力した数字を取り消すには、Cを押します。
- タイトルおよびチャプターの選択は、ジョイスティックの上下でも操作できます。

次のページにつづく

情報画面1での操作 (つづき)

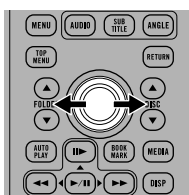
3 入力した番号が表示されている間にジョイスティックを押す 選んだ場面から再生されます。

- メニューのあるディスクでは、MENUボタンまたはTOP MENUボタンを押してメニュー画面を表示し、見たい場面を選ぶこともできます。
- ディスクによっては、 (禁止マーク) が表示され、タイトルやチャプター、時間を指定できないことがあります。
- 停止中のタイトル/チャプターサーチやタイムサーチはできません。
- 情報画面を表示しなくても、タイトルやチャプターを指定して再生することもできます(33ページ)。

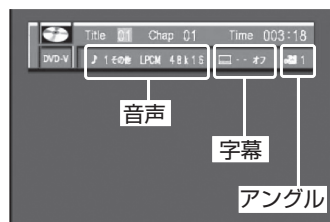
音声/字幕/アングルの切り換え

ディスク再生の音声（言語またはドルビーデジタルのような音声タイプなど）や字幕、アングルを切り換えることができます。

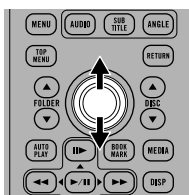
1



ジョイスティックを左右に操作して、項目を選ぶ
選んだ項目が青色で表示されます。

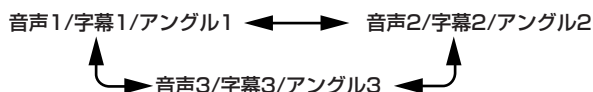


2



ジョイスティックを上下に操作して、希望の設定に切り換える

選んだ設定に切り換わります。



- 切り換わる数は、DVDに収録されている数により異なります。
- 音声/字幕/アングルは、再生中にそれぞれのボタンで切り換えることもできます。(36～37ページ)
- 「Dolby D」や「5.1 ch」などの表示は、DVDに収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

情報画面2での操作

この画面では、情報画面1のタイトル/チャプターサーチとタイムサーチの操作に加えて、リピート（繰り返し）範囲の切り換えができます。

再生範囲の切り換え

繰り返し再生する範囲を、いま再生しているタイトル、チャプター、1枚のディスクに切り換えることができます。

● 再生範囲について

再生範囲（繰り返し聞く範囲）は、次のとおりです。

再生範囲	リピート再生の内容
ディスク	再生中のディスクを繰り返し再生します。(通常はこのモードにしておきます。)
タイトル	再生中のタイトルを繰り返し再生します。
チャプター	再生中のチャプターを繰り返し再生します。

1



ジョイスティックを左右に操作して、リピート範囲の項目を選ぶ

リピート範囲の項目が青色で表示されます。



2



ジョイスティックを上下に操作して、希望の設定に切り換える

選んだ設定に切り換わります。

- ・ ディスクリピートでディスクの最後まで再生した場合、メニューを表示または再生を停止します。
- ・ 自動再生 (38ページ) がONのとき、再生範囲がDiscに設定されます。再生範囲の切り換えはできません。

音声の出力方法の切り換え

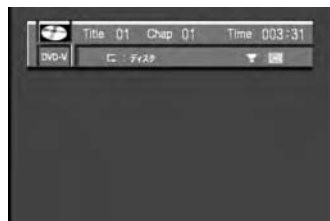
音声の出力方法を、ステレオまたはモノラルに切り換えることができます。

1



ジョイスティックを左右に操作して、音声の項目を選ぶ

音声の項目が青色で表示されます。

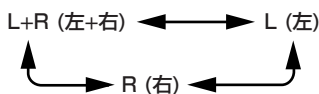


2



ジョイスティックを上下に操作して、希望の設定に切り換える

選んだ設定に切り換わります。

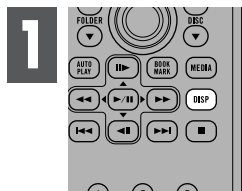


- 音声出力は、LPCMサウンドで再生しているときだけ切り換えることができます。DTSやドルビーデジタルで再生しているときは切り換わりません。

情報画面の表示のしかた

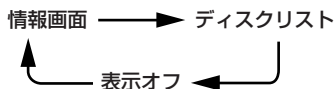
ビデオCDの情報画面では、トラックや時間を指定して見たい場面から再生したり、リピート（繰り返し）再生の範囲を切り換えたりするなど、ビデオCD再生のほとんどの操作が行えます。

- PBC（プレイバックコントロール）再生中は「PBC ON」と表示され、これらの機能は使用できません。



DISPボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順で表示が切り換わります。

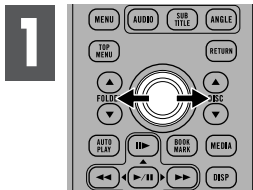


- 早送り/早戻し中にDISPボタンを押すと、通常の再生になります。

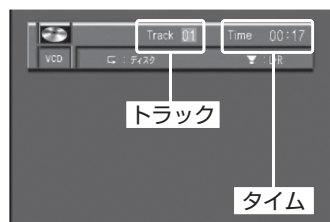
情報画面での操作

見たい場面から再生する

見たい場面から再生する機能には、トラックを指定するトラックサーチと時間を指定するタイムサーチがあります。



ジョイスティックを左右に操作して、項目を選ぶ
選んだ項目が青色で表示されます。



2 希望の番号の数字ボタンを押す

トラックサーチの場合

3を選ぶには、3を押します。
10を選ぶには、順に1、0を押します。
23を選ぶには、順に2、3を押します。
選んだトラックから10進めたい場合には、10を押します。

タイムサーチの場合

21分43秒を選ぶには、順に2、1、4、3を押します。
1時間11分を選ぶには、分に換算して順に7、1、0、0を押します。
選んだ時間から10秒ずつ進めたい場合には、10を続けて押します。

3 入力した番号が表示されている間にジョイスティックを押す

選んだ場面から再生されます。

- 入力した数字を取り消すには、Cを押します。
- トラックの選択は、ジョイスティックの上下でも操作できます。
- 停止中のタイムサーチはできません。
- 情報画面を表示しなくても、トラックを指定して再生することができます（31ページ）。

再生範囲の切り換え

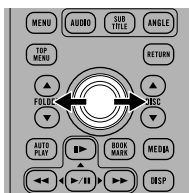
繰り返し再生する範囲を、いま再生しているトラックまたは1枚のディスクに切り換えることができます。

● 再生範囲について

再生範囲（繰り返し聞く範囲）は、次のとおりです。

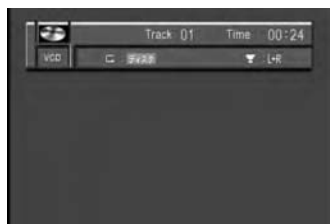
再生範囲	リピート再生の内容
ディスク	再生中のディスクを繰り返し再生します。(通常はこのモードにしておきます。)
トラック	再生中のトラックを繰り返し再生します。

1

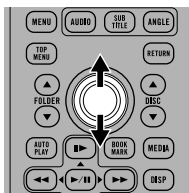


ジョイスティックを左右に操作して、リピート範囲の項目を選ぶ

リピート範囲の項目が青色で表示されます。



2



ジョイスティックを上下に操作して、希望の設定に切り換える

選んだ設定に切り換わります。

- ディスクリピートでディスクの最後まで再生した場合、メニューを表示または再生を停止します。

音声の出力方法の切り換え

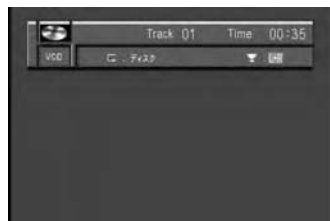
音声の出力方法を、ステレオまたはモノラルに切り換えることができます。

1



ジョイスティックを左右に操作して、音声の項目を選ぶ

音声の項目が青色で表示されます。



2



ジョイスティックを上下に操作して、希望の設定に切り換える

選んだ設定に切り換わります。

L+R (左+右) ←→ L (左)



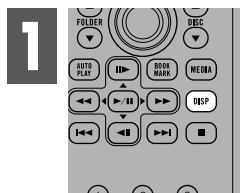
情報画面の表示のしかた



Video
CD

C
D

CDの情報画面では、トラックや時間を指定して見たい場面から再生したり、リピート（繰り返し）再生の範囲を切り換えたりするなど、CD再生のほとんどの操作が行えます。



DISPボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順で表示が切り換わります。

情報画面1 → 情報画面2

↑ ディスクリスト ↓

- 情報画面2は、「CD TEXT」を再生しているときだけ表示できます（53ページ）。
- トラックの指定は、情報画面1または2のどちらでもできます。この説明書では、トラックの指定については、情報画面1の操作で説明しています。
- 早送り/早戻し中にDISPボタンを押すと、通常の再生になります。

情報画面で操作する

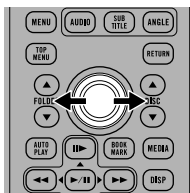
情報画面1での操作

聞きたい場所を探して再生したり、再生範囲、ランダム再生のオン/オフ、スキャン再生のオン/オフを切り換えたりすることができます。

聞きたい場所から再生する

聞きたい場所から再生するには、トラックサーチ機能を使います。

1



ジョイスティックを左右に操作して、トラックの項目を選ぶ

トラックの項目が青色で表示されます。



2

希望の番号の数字ボタンを押す

3を選ぶには、3を押します。

10を選ぶには、順に1、0を押します。

23を選ぶには、順に2、3を押します。

選んだトラックから10進めたい場合には、10を押します。

- 入力した数字を取り消すには、Cを押します。
- トラックの選択は、ジョイスティックの上下でも操作できます。

3

入力した番号が表示されている間にジョイスティックを押す

選んだ場所から再生されます。

再生範囲の切り換え

繰り返し再生する範囲を、いま再生しているトラックまたは1枚のディスクに切り換えることができます。

●再生範囲について

再生範囲（繰り返し聞く範囲）は、次のとおりです。

再生範囲	リピート再生の内容
ディスク	再生中のディスクを繰り返し再生します。(通常はこのモードにしておきます。)
トラック	再生中のトラックを繰り返し再生します。

1



ジョイスティックを左右に操作して、リピート範囲の項目を選ぶ

リピート範囲の項目が青色で表示されます。



2



ジョイスティックを上下に操作して、希望の設定に切り換える

選んだ設定に切り換わります。

ランダム再生のオン/オフ

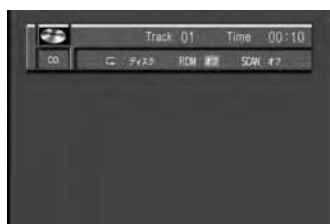
選曲をDVDプレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順（ランダム）で再生することができます。

1



ジョイスティックを左右に操作して、ランダム再生の項目を選ぶ

ランダム再生の項目が青色で表示されます。



2



ジョイスティックを上下に操作して、希望の設定に切り換える

オンにすると、ランダム再生が始まります。

情報画面1での操作 (つづき)

スキャン再生のオン/オフ

曲の出だし部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。

1

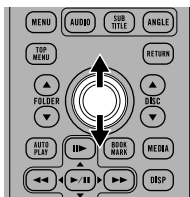


ジョイスティックを左右に操作して、スキャン再生の項目を選ぶ

スキャン再生の項目が青色で表示されます。



2



ジョイスティックを上下に操作して、希望の設定に切り換える

オンにすると、スキャン再生が始まります。

3

聞きたい曲が再生されたら、ジョイスティックを操作してオフに切り換える

- スキャン再生を始めた曲まで戻るとスキャン再生は解除されます。

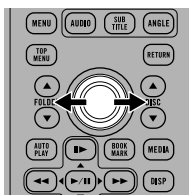
情報画面2での操作

タイトル表示/タイトルスクロール

「CD TEXT」に収録された、ディスクタイトル/ディスクアーティスト名/トラックタイトル/トラックアーティスト名を表示できます。表示できる文字数は最大21です。21文字より長い場合は、スクロールして表示できます。

■ タイトル表示

1



ジョイスティックを左右に操作して、タイトル表示の項目を選ぶ

タイトル表示の項目が青色で表示されます。

2



ジョイスティックを上下に操作して、希望の表示に切り換える

選んだ設定に切り換わります。

Disc Title : ディスクタイトル
Disc Artist : ディスクアーティスト名
Track Title : トラックタイトル
Track Artist : トラックアーティスト名

■ タイトルスクロール

1



ジョイスティックを押す

残りのタイトルがスクロールして表示されます。

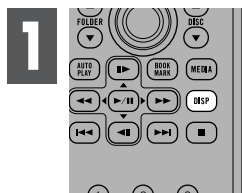
- タイトルが収録されていない場合、例えば「No Track Artist Name」などと表示されます。
- 収録されている文字によっては、本機では表示できないことがあります。

C_D

情報画面で操作する

情報画面の表示のしかた

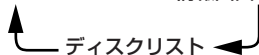
MP3/WMAの情報画面では、フォルダ、トラック、時間を指定して見たい場面から再生したり、リピート（繰り返し）再生の範囲を切り換えたりするなど、MP3/WMA再生のほとんどの操作が行えます。



DISPボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順で表示が切り換わります。

情報画面1 → 情報画面2



- フォルダおよびトラックの指定は、情報画面1または2のどちらでもできます。この説明書では、トラックの指定については、情報画面1の操作で説明しています。
- 早送り/早戻し中にDISPボタンを押すと、通常の再生になります。

情報画面1での操作

聞きたい場所を探して再生したり、再生範囲、ランダム再生のオン/オフ、スキャン再生のオン/オフを切り換えたりすることができます。

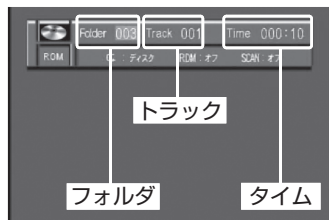
聞きたい場所から再生する

フォルダまたはトラックを指定して聞きたい場所から再生するにはフォルダ/トラックサーチ機能を使います。

1



ジョイスティックを左右に操作して、項目を選ぶ
選んだ項目が青色で表示されます。



2

希望の番号の数字ボタンを押す

3を選ぶには、3を押します。

10を選ぶには、順に1、0を押します。

23を選ぶには、順に2、3を押します。

選んだフォルダまたはトラックから10進めたい場合には、10を押します。

- 入力した数字を取り消すには、Cを押します。
- フォルダまたはトラックの選択は、ジョイスティックの上下でも操作できます。

3

入力した番号が表示されている間にジョイスティックを押す

選んだ場所から再生されます。

再生範囲の切り換え

繰り返し再生する範囲を、いま再生しているトラックや1つのフォルダなどに切り換えることができます。

●再生範囲について

再生範囲（繰り返し聞く範囲）は、次のとおりです。

再生範囲	リピート再生の内容
ディスク	再生中のディスクを繰り返し再生します。(通常はこのモードにしておきます。)
フォルダ	再生中のフォルダを繰り返し再生します。
トラック	再生中のトラックを繰り返し再生します。

次のページにつづく

情報画面1での操作 (つづき)

1



ジョイスティックを左右に操作して、リピート範囲の項目を選ぶ

リピート範囲の項目が青色で表示されます。



2



ジョイスティックを上下に操作して、希望の設定に切り換える

選んだ設定に切り換わります。

ランダム再生のオン/オフ

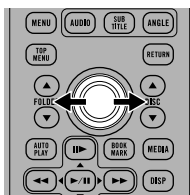
選曲をDVDプレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

1

再生範囲を選ぶ (55ページ)

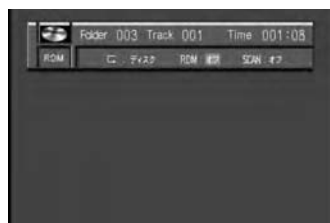
選んだ再生範囲内でランダム再生されます。

2



ジョイスティックを左右に操作して、ランダム再生の項目を選ぶ

ランダム再生の項目が青色で表示されます。



3



ジョイスティックを上下に操作して、希望の設定に切り換える

オンにすると、ランダム再生が始まります。

- トラックリピートのときにランダム再生をオンにすると、再生範囲がフォルダに切り換わり、ランダム再生します。

スキャン再生のオン/オフ

いま聞いているフォルダの曲の出だし部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、全フォルダの1曲目の出だし部分だけを、次々に聞くこともできます。

1 再生範囲を選ぶ (55ページ)

選んだ再生範囲内でスキャン再生されます。

2

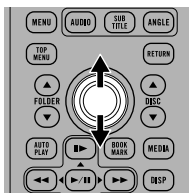


ジョイスティックを左右に操作して、スキャン再生の項目を選ぶ

スキャン再生の項目が青色で表示されます。



3



ジョイスティックを上下に操作して、希望の設定に切り換える

オンにすると、スキャン再生が始まります。

4

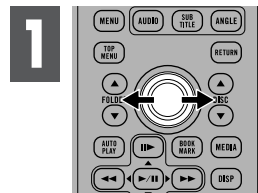
聞きたい曲が再生されたら、ジョイスティックを操作してオフに切り換える

- スキャン再生を始めた曲（またはフォルダ）まで戻るとスキャン再生は解除されます。
- トラックリピートのときにスキャン再生をオンにすると、再生範囲がフォルダに切り換わり、スキャン再生されます。

タイトル表示/タイトルスクロール

MP3またはWMAファイルに記録された、フォルダ名/ファイル名/曲名などを表示できます。表示できる文字数は最大21です。21文字より長い場合は、スクロールして表示できます。

■ タイトル表示



ジョイスティックを左右に操作して、タイトル表示の項目を選ぶ

タイトル表示の項目が青色で表示されます。



ジョイスティックを上下に操作して、希望の表示に切り換える

選んだ設定に切り換わります。

Folder Name : フォルダ名
File Name : ファイル名
Track Title : 曲名
Artist Name : 曲の歌手名
Album Title : アルバム名
Comment : コメント
Bit Rate : ビットレート

■ タイトルスクロール



ジョイスティックを押す

残りのタイトルがスクロールして表示されます。

- WMAでは、アルバム名とコメントは表示できません。これらを選んだ場合、「No Album Title」または「No Comment」と表示されます。
- タイトルが記録されていない場合、例えば「No Track Artist Name」などと表示されます。
- 表示できるのは、英数字と記号だけです。
- 記録されている文字によっては、本機では表示できないことがあります。

ディスクリストでの操作

ディスクを一覧から選んで再生できます。ディスクの種類を確認して選びたいときに便利です。

1



ジョイスティックを左右に操作して希望のディスクを選ぶ

選んだディスクの項目は枠囲みで表示されます。



2



ジョイスティックを押す

ディスクの項目が青色で表示され、再生が始まります。

- ディスクは、1～6のボタンまたは▲/▼ボタン（DISC）でも選べます。

初期設定メニューを表示する

音声や字幕、視聴制限などDVDプレーヤーの設定を変更することができます。

1



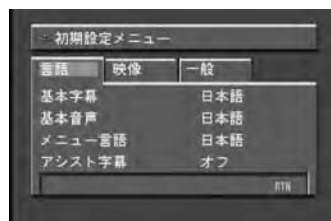
停止 (■) ボタンを押して、ディスクの再生を停止する

2



MENUボタンを押して、初期設定メニューを表示する

初期設定メニュー（言語）が表示されます。

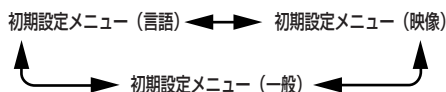


3



ジョイスティックを左右に操作して、初期設定メニューを切り換える

ジョイスティックを左右に操作することにより、次のように切り換わります。



- 初期設定メニューの表示中にMENUまたはRETURNボタンを押すと、初期設定メニューが消えます。再生は停止状態のままですので、再生する場合は再生/一時停止 (▶/||) ボタンを押してください。

● 1つ前の画面に戻るには

初期設定メニューは、各設定項目ごとに画面が切り換わります。続けてほかの項目を設定する場合、RETURNボタンを押すことで1つ前の画面に戻ることができます。(画面右下の「RTN」をジョイスティックで選んで、ジョイスティックを押すことでも、前の画面に戻ることができます。)

基本字幕の設定

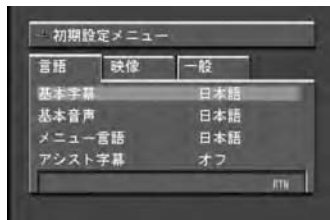
字幕として優先したい言語を設定することができます。

1



初期設定メニュー（言語）で、ジョイスティックを上下に操作して、「基本字幕」を選ぶ

「基本字幕」が青色で表示されます。

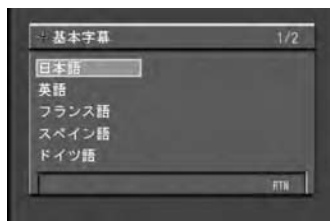


2



ジョイスティックを押して、基本字幕の設定画面に切り換える

基本字幕の設定画面に切り換わります。



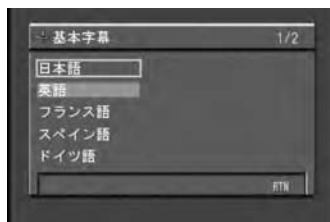
3



ジョイスティックを上下に操作して、希望の言語を選ぶ

現在設定されている言語は枠囲みで表示され、ジョイスティックで選んでいる言語は青色で表示されます。

- ジョイスティックを左右に操作すると、画面を切り換えることができます。



4

ジョイスティックを押す

選んだ項目に切り換わります。

- 選んだ言語がディスクに収録されていないときは、ディスクで指定されている言語が表示されます。
- SUBTITLEボタンで、再生中に字幕の言語を切り換えることもできます (37ページ)。
- SUBTITLEボタンで字幕の言語を切り換えても、初期設定メニューでの設定には影響はありません。
- RETURNボタンを押すと、1つ前の画面に戻ります。

●「その他」を選んだとき

「その他」を選ぶと、言語のコード入力画面が表示されます。「言語コード表」(78ページ)を参照して、4桁の言語コードを数字ボタンで入力し、ジョイスティックを押してください。Cボタンを押すと、入力した数字を消すことができます。

基本音声の設定

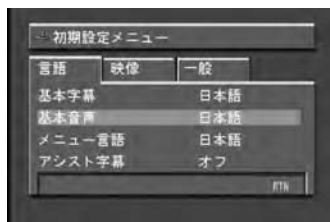
音声として優先したい言語を設定することができます。

1



初期設定メニュー（言語）で、ジョイスティックを上下に操作して、「基本音声」を選ぶ

「基本音声」が青色で表示されます。

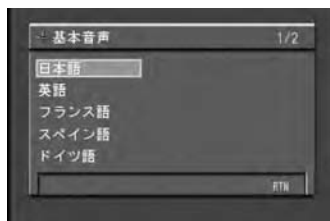


2



ジョイスティックを押して、基本音声の設定画面に切り換える

基本音声の設定画面に切り換わります。

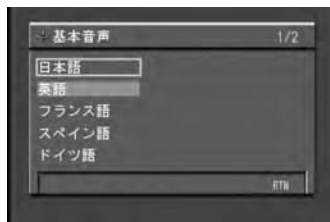


3



ジョイスティックを上下に操作して、希望の言語を選ぶ

現在設定されている言語は枠囲みで表示され、ジョイスティックで選んでいる言語は青色で表示されます。ジョイスティックを左右に操作すると、画面を切り換えることができます。



4

ジョイスティックを押す

選んだ項目に切り換わります。

初期設定を変える

次のページにつづく

- 選んだ言語がディスクに収録されていないときは、ディスクで指定されている言語が表示されます。
- リモコンのAUDIOボタンで、再生中に音声言語を切り換えることもできます (36ページ)。
- リモコンのAUDIOボタンで音声言語を切り換えても、初期設定メニューでの設定には影響はありません。
- RETURNボタンを押すと、1つ前の画面に戻ります。

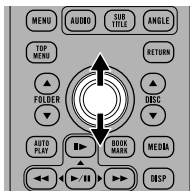
●「その他」を選んだとき

「その他」を選ぶと、言語のコード入力画面が表示されます。「言語コード表」(78ページ)を参照して、4桁の言語コードを数字ボタンで入力し、ジョイスティックを押してください。Cボタンを押すと、入力した数字を消すことができます。

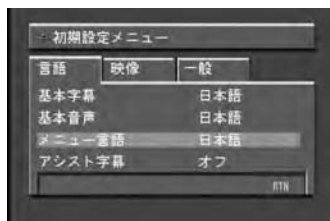
メニュー言語の設定

ディスクに収録されているメニュー画面の表示言語として、優先したい言語を設定することができます。

1



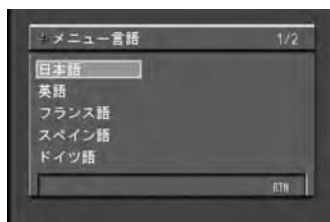
初期設定メニュー（言語）で、ジョイスティックを上下に操作して、「メニュー言語」を選ぶ
「メニュー言語」が青色で表示されます。



2



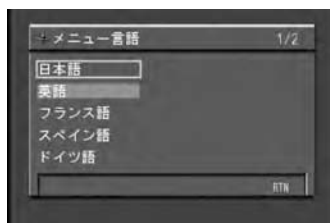
ジョイスティックを押して、メニュー言語の設定画面に切り換える
メニュー言語の設定画面に切り換わります。



3



ジョイスティックを上下に操作して、希望の言語を選ぶ
現在設定されている言語は枠囲みで表示され、ジョイスティックで選んでいる言語は青色で表示されます。ジョイスティックを左右に操作すると、画面を切り換えることができます。



4

ジョイスティックを押す
選んだ項目に切り換わります。

- 選んだ言語がディスクに収録されていないときは、ディスクで指定されている言語が表示されます。
- RETURNボタンを押すと、1つ前の画面に戻ります。

●「その他」を選んだとき

「その他」を選ぶと、言語のコード入力画面が表示されます。「言語コード表」(78ページ)を参照して、4桁の言語コードを数字ボタンで入力し、ジョイスティックを押してください。Cボタンを押すと、入力した数字を消すことができます。

アシスト字幕の設定

アシスト字幕のオン/オフを設定することができます。

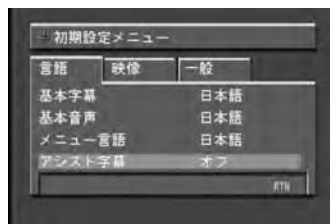
● アシスト字幕について

アシスト字幕とは、耳の不自由な方のために、場面の状況を説明する字幕です。ただし、アシスト字幕はDVDに収録されている場合にのみ表示することができます。

1



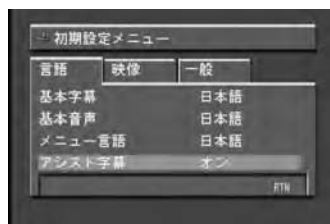
初期設定メニュー（言語）で、ジョイスティックを上下に操作して、「アシスト字幕」を選ぶ
「アシスト字幕」が青色で表示されます。



2



ジョイスティックを押して、アシスト字幕のオン/オフを切り換える
ジョイスティックを押すごとに、アシスト字幕のオン/オフが切り換わります。



初期設定を変える

マルチアングルマーク表示の設定

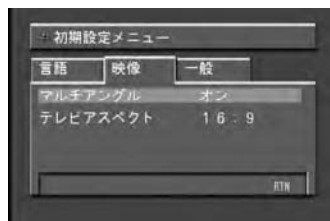
複数のアングルが収録されたディスクで、アングルが切り換えできる場面を再生している間、画面左下にマルチアングルマークを表示することができます。

1



初期設定メニュー（映像）で、ジョイスティックを上下に操作して、「マルチアングル」を選ぶ

「マルチアングル」が青色で表示されます。

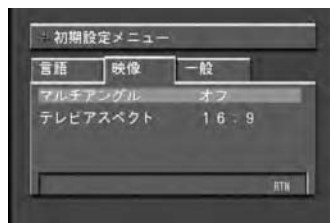


2



ジョイスティックを押して、マルチアングルマーク表示のオン/オフを切り換える

ジョイスティックを押すごとに、マルチアングルマーク表示のオン/オフが切り換わります。



画面の縦横比の設定

モニターには、横と縦の比率が16:9のワイド画面と、4:3のノーマル画面の2種類があります。お使いのモニターに合わせて正しく設定してください。

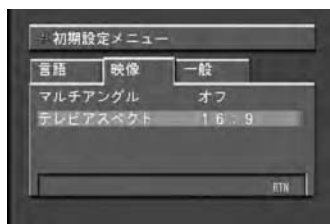
テレビアスペクト	設定内容
16:9	ワイドモニターをお使いのときに選択します。(初期設定)
レターボックス	ノーマルモニターをお使いのときに選択します。ディスクに収録されている映像が16:9のときは、レターボックス（上下に黒い帯のある画面）になります。
パンスキャン	ノーマルモニターをお使いのときに選択します。ディスクに収録されている映像が16:9のときは、パンスキャン（左右の切れた画面）になります。

1



初期設定メニュー（映像）で、ジョイスティックを上下に操作して、「テレビアスペクト」を選ぶ

「テレビアスペクト」が青色で表示されます。

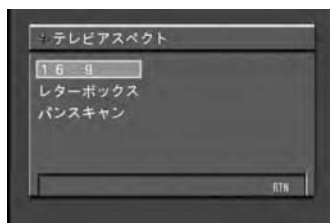


2



ジョイスティックを押して、テレビアスペクトの設定画面に切り換える

テレビアスペクトの設定画面に切り換わります。

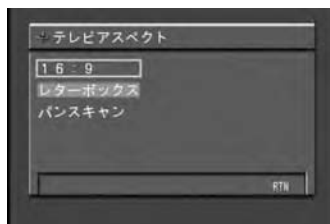


3



ジョイスティックを上下に操作して、希望の設定を選ぶ

現在設定されている項目は枠囲みで表示され、ジョイスティックで選んでいる項目は青色で表示されます。



初期設定を変える

4

ジョイスティックを押す

選んだ項目に切り換わります。

- ノーマルモニターをお使いのときは、「レターボックス」または「パンスキャン」のどちらかに設定してください。「16:9」に設定すると、映像が不自然になることがあります。
- パンスキャン設定されていないディスクを再生したときは、「パンスキャン」に設定しても、「レターボックス」での再生となります。ディスクのパッケージで、マーク(12ページ)を確認してください。
- ディスクによっては、テレビアスペクトを変更できないものもあります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- RETURNボタンを押すと、1つ前の画面に戻ります。

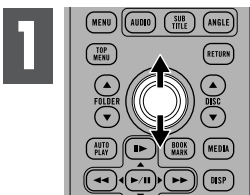
視聴制限の設定

ディスクの中には、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴を制限できるものがあります。この視聴制限は、レベルによって段階的に設定することができます。

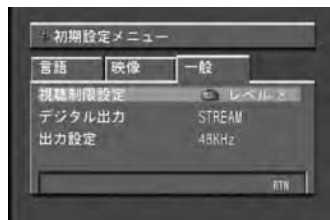
レベル	視聴制限の内容
レベル 8	すべてのディスクを再生できます。(初期設定)
レベル 7～レベル 2	成人向けのディスクの再生を禁止します。(子供向けや一般向けのディスクが再生できます。)
レベル 1	子供向けのディスクのみ再生できます。

暗証番号とレベルの設定

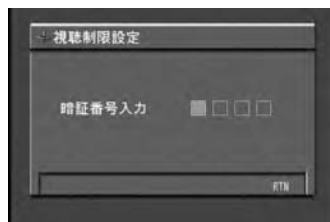
最初にご使用になるときは、暗証番号を登録してください。暗証番号を登録しないと、視聴制限を設定することはできません。



初期設定メニュー（一般）で、ジョイスティックを上下に操作して、「視聴制限設定」を選ぶ
「視聴制限設定」が青色で表示されます。



ジョイスティックを押して、視聴制限設定の画面に切り換える
視聴制限設定の画面に切り換わります。



リモコンの数字ボタンで、4桁の暗証番号を入力する



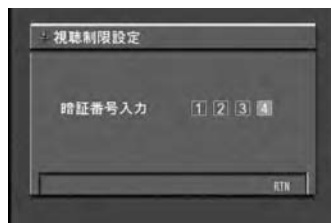
4 ジョイスティックを押す

暗証番号が決定され、レベルの変更ができるようになります。

5



ジョイスティックを左右に操作して、レベルを選ぶ



6

ジョイスティックを押して、視聴制限レベルを設定する

視聴制限のレベルが設定されます。

- 登録した暗証番号は、忘れないようにメモしておくことをおすすめします。
- 視聴制限レベルは、ディスクに記録されています。ディスクのパッケージなどで確認ください。なお、視聴制限レベルが記録されていないディスクでは、レベルを設定しても視聴制限はかけられません。
- ディスクによっては、視聴制限されたシーンだけを飛ばして再生するものもあります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- RETURNボタンを押すと、1つ前の画面に戻ります。

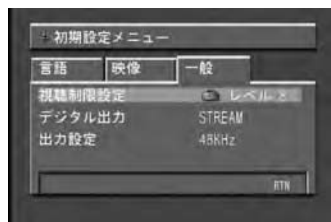
レベルの変更

設定した視聴制限のレベルを変更することができます。

1



初期設定メニュー（一般）で、ジョイスティックを上下に操作して、「視聴制限設定」を選ぶ
「視聴制限設定」が青色で表示されます。

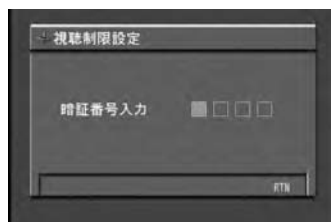


2



ジョイスティックを押して、視聴制限設定の画面に切り換える

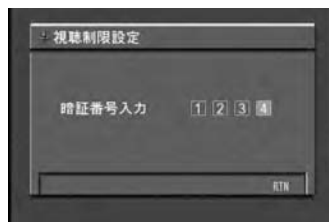
視聴制限設定の画面に切り換わります。



3



リモコンの数字ボタンで、登録してある暗証番号を入力する



4

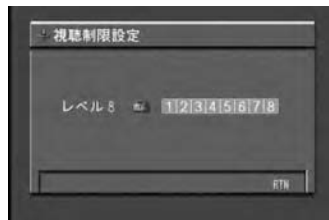
ジョイスティックを押す

暗証番号が決定され、レベルの変更ができるようになります。

5



ジョイスティックを左右に操作して、レベルを選ぶ



6

ジョイスティックを押して、視聴制限レベルを設定する

視聴制限のレベルが設定されます。

- RETURNボタンを押すと、1つ前の画面に戻ります。

● 視聴制限されたディスクを再生するとき

視聴制限されたディスクを再生しようとしたとき、暗証番号の入力画面が表示されることがあります。この場合、正しい暗証番号を入力しないと再生は始まりません。

暗証番号を忘れたときは

「レベルの変更」の手順2で、Cボタンを10回押します。
登録した暗証番号が解除され、新しい暗証番号を登録できるようになります。

デジタル出力の設定

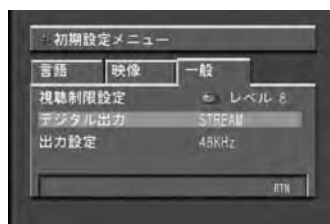
組み合わせる機器に合わせて、デジタル出力を正しく設定してください。デジタル接続していない場合、変更する必要はありません。

- 誤った設定をするとノイズが発生し、スピーカーを破損する恐れがありますので、組み合わせる機器の説明書も併せてお読みください。

デジタル出力	設定内容
STREAM	ドルビーデジタルに対応したアンプまたはデコーダーをお使いのときに選択します。ドルビーデジタル信号をそのまま出力します。(初期設定)
LPCM	ドルビーデジタルに対応していないアンプまたはデコーダーをお使いのときに選択します。ドルビーデジタル信号をリニアPCMに変換して出力します。

1 ジョイスティックを上下に操作して、「デジタル出力」を選ぶ

「デジタル出力」が青色で表示されます。



2 ジョイスティックを押して、デジタル出力の設定画面に切り換える

デジタル出力の設定画面に切り換わります。



3 ジョイスティックを上下に操作して、希望のデジタル出力を選ぶ

現在設定されているデジタル出力は枠囲みで表示され、ジョイスティックで選んでいるデジタル出力は青色で表示されます。

4 ジョイスティックを押す

選んだデジタル出力に設定されます。

- DTS音声は、リニアPCM出力できません。「LPCM」に設定すると、DTS音声は出力されません。
- 5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」と組み合わせた場合、「STREAM」に設定してください。
- RETURNボタンを押すと、1つ前の画面に戻ります。

音声出力の設定 (デジタル/アナログ共通)

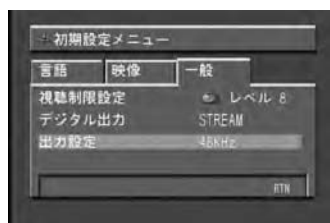
リニアPCM音声の出力方法をデジタル/アナログ共通で設定することができます。組み合わせる機器に合わせて正しく設定してください。

- 誤った設定をすると音声が出られなくなりますので、組み合わせる機器の説明書も併せてお読みください。

出力設定	設定内容
48kHz	デジタル接続時は、通常はこの設定にします。 音声のサンプリング周波数にかかわらず 48 kHz で出力します。 96 kHzの場合、48 kHzに変換されます。(初期設定)
96kHz	アナログ接続時は、通常はこの設定にします。 音声のサンプリング周波数のまま出力します。96 kHzの場合、そのまますの高音質を楽しむことができます。

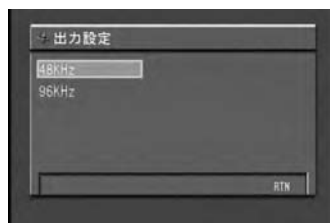
1 ジョイスティックを上下に操作して、「出力設定」を選ぶ

「出力設定」が青色で表示されます。



2 ジョイスティックを押して、出力設定の画面に切り換える

出力設定の画面に切り換わります。



3 ジョイスティックを上下に操作して、希望の出力設定を選ぶ

現在設定されているデジタル出力は枠囲みで表示され、ジョイスティックで選んでいる出力設定は青色で表示されます。

4 ジョイスティックを押す

選んだ音声出力に設定されます。

- 96 kHzで収録されているディスクでは、「96kHz」に設定するとデジタル出力から音声が出なくなります。(ただし、ディスクにCSS (Content Scrambling System) のコピーガード信号が入っていない場合、96 kHzで音声がデジタル出力されます。)
- 5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」と組み合わせた場合、「48kHz」に設定してください。「96kHz」に設定すると、96 kHzで収録されているディスクの音声が出されません。
- RETURNボタンを押すと、1つ前の画面に戻ります。

メインユニットからの操作

IP BUSモードの場合、本機のリモコンだけでなく、メインユニットでも一部の操作をすることができます。

メインユニットから本機をエクスターナルユニットとして操作する場合は、次の「機能対応表」と「ファンクションモードの操作」を参照して、対応しているボタンで操作してください。

- FH-P070MDと組み合わせた場合、FH-P070MDにはMP3/WMA再生時にフォルダ番号/トラック番号/再生経過時間を表示できません。

■ 機能対応表

ボタン	操作	機能			
		DVD	ビデオCD	CD	MP3/WMA
1～6	押す。	目的のディスク (ホルダー) を選ぶ。			
▲または▼	押す。	次/前のタイトルを選ぶ。	—		次/前のフォルダを選ぶ。
	2秒以上押す。	次/前のディスクを選ぶ。			
◀または▶	押す。	前のトラック (チャプター) に戻る、または次のトラック (チャプター) に進む* ¹ 。			
	2秒以上押す。	早送り/早戻しする* ² 。			
BAND/ESC	押す。	—			MP3/WMAファイルと音楽データ (CD-DA) を切り換える* ³ 。
	2秒以上押す。	—			フォルダ01 (ROOT) に戻る* ⁴ 。
FUNCTION (FUNC)	押す。	FUNCTIONモードを選ぶ。			

*¹ AUTO/MANUALでAUTOを選んでいるときだけ操作できます。

*² AUTO/MANUALでMANUALを選んでいるときだけ操作できます。

*³ MP3/WMAファイルと音楽データ (CD-DA) が混在しているCD-EXTRAやMIXED-MODE CDの場合に、この機能が使えます。

*⁴ フォルダ01 (ROOT) にファイルがない場合は、次のフォルダから再生が始まります。

- 組み合わせるメインユニットによっては、次の機能が使えません。
 - MP3/WMA ファイルと音楽データ (CD-DA) を切り換える
 - フォルダ01 (ROOT) に戻る

■ ファンクションモードの操作

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

FUNCTIONモード	操作	機能			
		DVD	ビデオCD	CD	MP3/WMA
FUNCTION1	▲または▼を押す。	メインユニットの表示を切り換える。			
	▲または▼を2秒以上押す。	—			
FUNCTION2	▲または▼を押す。	再生/一時停止をする。			
	▲または▼を2秒以上押す。	—		ランダム再生をON/OFFする。	
FUNCTION3	▲または▼を押す。	—		スキャン再生をON/OFFする。	
	▲または▼を2秒以上押す。	—			
FUNCTION4	▲または▼を押す。	リピート再生の種類を選ぶ。			
	▲または▼を2秒以上押す。	—			
AUTO/MANUAL	◀または▶を押す。	AUTOとMANUALを切り換える。			

■ 電源を入れる

IP BUSモードで接続した場合は、以下の手順で電源を入れます。

1 モニターの映像ソースを本機に切り換える

詳しくは、接続した機器の説明書をご覧ください。

2 メインユニットのソースを本機に切り換える

詳しくは、メインユニットの説明書をご覧ください。

ご注意

- 本機のリモコンでは、メインユニットのソースの切り換えはできません。
- POWERボタンを押して本機の電源を入れたときは、メインユニットの電源を切っても本機の電源は切れません。この場合、本機の電源を忘れずに切ってください。
- メインユニットで選ばれているソースのディスク (CDまたはMD) を取り出すと、メインユニットの電源が切れます。接続方法によってはこのとき、リアモニターの映像が消えることがあります。

言語コード表



言語名 (言語コード)	入力コード
日本語 (ja)	1001
英語 (en)	0514
フランス語 (fr)	0618
スペイン語 (es)	0519
ドイツ語 (de)	0405
イタリア語 (it)	0920
中国語 (zh)	2608
オランダ語 (nl)	1412
ポルトガル語 (pt)	1620
スウェーデン語 (sv)	1922
ロシア語 (ru)	1821
韓国語 (ko)	1115
ギリシャ語 (el)	0512
アファル語 (aa)	0101
アブバジア語 (ab)	0102
アフリカーンス語 (af)	0106
アムハラ語 (am)	0113
アラビア語 (ar)	0118
アッサム語 (as)	0119
アイマラ語 (ay)	0125
アゼルバイジャン語 (az)	0126
バシキール語 (ba)	0201
ベラルーシ語 (be)	0205
ブルガリア語 (bg)	0207
ビハーリー語 (bh)	0208
ビスラマ語 (bi)	0209
ベンガル語 (bn)	0214
チベット語 (bo)	0215
ブルトン語 (br)	0218
カタロニア語 (ca)	0301
コルシカ語 (co)	0315
チェコ語 (cs)	0319
ウェールズ語 (cy)	0325
デンマーク語 (da)	0401
ブータン語 (dz)	0426
エスペラント語 (eo)	0515
エストニア語 (et)	0520
バスク語 (eu)	0521
ペルシア語 (fa)	0601
フィンランド語 (fi)	0609
フィジー語 (fj)	0610
フェロー語 (fo)	0615
フリジア語 (fy)	0625
アイルランド語 (ga)	0701
スコットランドゲール語 (gd)	0704
ガリシア語 (gl)	0712
グアラニ語 (gn)	0714

言語名 (言語コード)	入力コード
グジャラート語 (gu)	0721
ハウサ語 (ha)	0801
ヒンディー語 (hi)	0809
クロアチア語 (hr)	0818
ハンガリー語 (hu)	0821
アルメニア語 (hy)	0825
国際語 (ia)	0901
Interlingue (ie)	0905
イヌピアック語 (ik)	0911
インドネシア語 (in)	0914
アイスランド語 (is)	0919
ヘブライ語 (iw)	0923
イディッシュ語 (ji)	1009
ジャワ語 (jw)	1023
グルジア語 (ka)	1101
カザフ語 (kk)	1111
グリーンランド語 (kl)	1112
カンボジア語 (km)	1113
カナダ語 (kn)	1114
カシミール語 (ks)	1119
クルド語 (ku)	1121
キルギス語 (ky)	1125
ラテン語 (la)	1201
リンガラ語 (ln)	1214
ラオス語 (lo)	1215
リトアニア語 (lt)	1220
ラトビア語 (lv)	1222
マダガスカル語 (mg)	1307
マオリ語 (mi)	1309
マケドニア語 (mk)	1311
マラヤーラム語 (ml)	1312
モンゴル語 (mn)	1314
モルダビア語 (mo)	1315
マラータ語 (mr)	1318
マライ語 (ms)	1319
マルタ語 (mt)	1320
ビルマ語 (my)	1325
ナウル語 (na)	1401
ネパール語 (ne)	1405
ノルウェー語 (no)	1415
プロバンス語 (oc)	1503
オロモ語 (om)	1513
オリヤー語 (or)	1518
バンジャブ語 (pa)	1601
ポーランド語 (pl)	1612
アフガニスタン語 (ps)	1619
ケチュア語 (qu)	1721

言語名 (言語コード)	入力コード
レートロマン語 (rm)	1813
キルンディ語 (rn)	1814
ローマ語 (ro)	1815
キニヤルワンダ語 (rw)	1823
サンスクリット語 (sa)	1901
シンド語 (sd)	1904
サンド語 (sg)	1907
セルボクロアチア語 (sh)	1908
セイロン語 (si)	1909
スロバック語 (sk)	1911
スロベニア語 (sl)	1912
サモア語 (sm)	1913
ショナ語 (sn)	1914
ソマリ語 (so)	1915
アルバニア語 (sq)	1917
セルビア語 (sr)	1918
シスワティ語 (ss)	1919
セストゥ語 (st)	1920
スンダ語 (su)	1921
スワヒリ語 (sw)	1923
タミル語 (ta)	2001
テルグ語 (te)	2005
タジク語 (tg)	2007
タイ語 (th)	2008
チグリス語 (ti)	2009
ツルキ語 (tk)	2011
タガログ語 (tl)	2012
セツワナ語 (tn)	2014
トンガ語 (to)	2015
トルコ語 (tr)	2018
ツォンガ語 (ts)	2019
タタール語 (tt)	2020
トウィ語 (tw)	2023
ウクライナ語 (uk)	2111
ウルドゥー語 (ur)	2118
ウズベク語 (uz)	2126
ベトナム語 (vi)	2209
ボラビュク語 (vo)	2215
ウォルフ語 (wo)	2315
コーサ語 (xh)	2408
ユルバ語 (yo)	2515
ズールー語 (zu)	2621

* 言語表記はISO639:1988 (E/F)に準拠 (1999年9月現在)

用語解説

アスペクト比

テレビ画面の横と縦の比率をいいます。ノーマルモニターは4：3ですが、ワイドモニターは16：9の比率となっており、臨場感あふれる映像が楽しめます。

視聴制限 (パレンタルロック)

成人向けの内容や暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限が記録されているものがあります。このようなディスクでは、本機の視聴制限レベルを設定することで、再生できなくなったり、過激なシーンを飛ばして再生したりすることができます。

ドルビーデジタル

ドルビーデジタルは最大5.1チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして装備されているドルビーデジタルと同一のシステムです。

ドルビーデジタルを楽しむには、本機の光デジタル出力端子とドルビーデジタル対応アンプの光デジタル入力端子を接続する必要があります。

ドルビープロロジックII

ドルビープロロジックIIは、2チャンネル信号を5.1チャンネルに拡張することができます。CDのような通常のステレオ音楽でも立体音場効果、包囲感、より明確な定位感を実現します。

パケットライト

フロッピーやハードディスクと同じように、必要なファイルを必要な時点でCD-Rなどに書き込む方式の総称です。

光デジタル出力

音声信号をデジタル信号で伝送することにより、音質の劣化を最小限に抑えることができます。また、デジタル信号を光で伝送するものが光デジタル出力です。(アンプなど受け取り側には、光デジタル入力が必要です。)

ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps (bit per second) です。この数字が大きいくほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式 (MP3など) での比較では、一般的に数字が大きいく方が良い音となります。

プレイバックコントロール (PBC)

ビデオCD (バージョン2.0) に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオCDに記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のソフトや検索機能のあるソフトの再生が楽しめます。また、高/標準解像度の静止画も楽しむことができます。

用語解説 (つづき)

マルチアングル

DVDには、同時に複数のカメラで撮影した映像(マルチアングル)を収録しているものがあります。このようなディスクの再生では、見たいアングルを収録されているものの中から選ぶことができます。

マルチ音声

DVDの中には、1枚のディスクの中に複数の音声を収録しているものがあります。DVDでは、音声を最大8言語(8ストリーム)まで記録することができ、その中からお好みの言語を選ぶことができます。

マルチ字幕(サブタイトル)

映画などでおなじみの字幕です。DVDでは、字幕の言語を最大32カ国語まで記録することができ、その中からお好みの言語を選ぶことができます。

マルチセッション

マルチセッションとは、データの追加ができる記録方式です。CD-ROMやCD-R、CD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

リージョン番号

DVDプレーヤーとDVDディスクには、発売地域ごとに再生可能な地域番号(リージョン番号)が設けられています。このため、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョン番号は「2」です。

リニアPCM (LPCM)

音楽CDに用いられている信号記録方式で、Linear Pulse Code Modulationの略です。

音楽CDでは44.1 kHz/16 bitで記録されているのに対し、DVDでは48 kHz/16 bit~96 kHz/24 bitで記録されています。このためDVDは、音楽CDよりも高音質な再生が可能です。

DTS

Digital Theater Systemsの略です。DTSはサラウンドシステムで、最大6チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。

DTS音声付きディスクを楽しむには、本機の光デジタル出力端子とDTS対応アンプやデコーダーなどの光デジタル入力端子を接続する必要があります。

ID3 Tag

曲の関連情報をMP3ファイルの中に埋め込む方式です。埋め込むことのできる情報には、曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、製作年、コメントなどがあります。この内容は、ID3 Tag編集機能のあるソフトを利用して自由に編集できます。通常は文字数などに制限があります。曲の再生時に情報を見ることができるようになっています。

ISO9660フォーマット

CD-ROMのファイルおよびフォルダに関する論理フォーマットの国際基準です。ISO9660フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

レベル1：

ファイル名は、8.3形式（名前は半角英文大文字と半角数字、“_”で8文字以下、拡張子は3文字）

レベル2：

ファイル名は、最大31文字（区切り文字、“.”と拡張子を含む）で、各フォルダの階層は8つ以下
拡張フォーマット

Joliet：

ファイル名は、最大で48文字

Romeo：

ファイル名は、最大で48文字

MPEG

Moving Picture Experts Groupの略で、「エムペグ」と読みます。これは動画圧縮の国際標準です。DVDでは、この方式でデジタル音声を圧縮し記録しているものもあります。

MP3 (エムピースリー)

MPEG Audio Layer3の略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループ（MPEG）が定めた音声圧縮の規格です。MP3は、音声データを元のデータの約1/10のサイズに圧縮することができます。

m3u

プレイリストファイルの拡張子（.m3u）で、「WINAMP」というソフトで作成したプレイリストに付きます。

VBR (バイビーアール)

Variable Bit Rate（可変ビットレート）の略です。一般的にはCBR（固定ビットレート）が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変にすることで、音質を優先した圧縮が可能となります。

WMA (ダブリューエムエー)

「Windows Media™ Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

故障かな？と思ったら

故障かな？ と思ったら

修理を依頼される前に、
次の表の内容をチェッ
クしてください。

チェックしても 直らないときは

本機をリセットしてくだ
さい (19ページ)。

それでも 直らないときは

保証書とアフターサー
ビス (87ページ) をお
読みにになり、修理を依
頼してください。

■ 共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが 正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、 もう一度確認してください (取付説明書)。
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れた ヒューズを同じ容量のヒューズと交換し てください (取付説明書)。
	ノイズなどが原因で内蔵の マイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください (19ページ)。
リモコンで操作でき ない。 操作に合った正しい 動作をしない。	電池が弱っている。	新しい電池に交換してください (20ページ)。
	ディスクによっては、禁止 している操作があります。	別のディスクで確認してください。
再生できない。	ディスクが汚れている。	汚れを拭き取ってください (10ページ)。
	本機で再生できない種類の ディスクが入っている。	ディスクを確認してください (11ページ)。

■ 共通項目 (続き)

症 状	原 因	処 置
音が出ない。	接続が間違っている。	接続を確認してください。
	ディスクによっては、96 kHz の出力を禁止している場合があります。	出力設定を48 kHzに切り換えてください (75ページ)。
	静止画、スロー、コマ送り再生している。	静止画、スロー、コマ送り再生中に、音声を聞くことはできません。
Ⓢ (禁止マーク) が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作です。	この操作はできません。
	ディスクの構成上対応できない操作をしている。	
画面が止まり、操作を受け付けない。	ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。	一度停止 (■) ボタンを押してから、もう一度再生してください。
音が出ない。 音が小さい。	メインユニットまたは接続した機器の音量を下げています。	メインユニットまたは接続した機器の音量を上げてください。
	アッテネーターがONになっている。	メインユニットのアッテネーターを解除してください。
音や映像が飛ぶ。	本機がしっかり固定されていない。	本機をしっかりと固定してください (取付説明書)。
画面が伸びる、アスペクトが合わない。	モニターに対しての設定が正しくない。	ご使用のモニターに合った設定にしてください (69ページ)。
リアモニターの映像が消える。	メインユニットで聞いているソースのディスク (CDまたはMD) を取り出した。	ディスクの取り出しを行う前に、ソースの切り換えを行ってください。接続方法によっては、このような現象がおきることがあります (取付説明書)。

故障かな?と思ったら (つづき)

■ DVD再生時

症 状	原 因	処 置
再生できない。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください(12ページ)。
視聴制限のメッセージが表示され、再生ができない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除またはレベルを変更してください(71、72ページ)。
視聴制限を解除できない。	暗証番号が間違っている。	正しい暗証番号を入力してください(71ページ)。
	暗証番号を忘れてしまった。	Cボタンを10回押して、暗証番号を解除してください(73ページ)。
音声 (または字幕) 言語が切り換えられない。	複数の言語が収録されていないDVDを再生している。	複数の言語が収録されていないDVDでは、切り換えられません。
	ディスクのメニューでしか切り換えできないよう制限されている。	ディスクのメニューで切り換えてください。
字幕が出ない。	字幕が収録されていないDVDを再生している。	字幕が収録されていないDVDでは、字幕を表示できません。
	ディスクのメニューでしか切り換えできないよう制限されている。	ディスクのメニューで切り換えてください。
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り換わりません。
アングルを切り換えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り換えられません。
	複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。
ディスク再生中に映像が乱れるまたは暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合があります。)	本製品はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものもあります。これは、正常な動作です。

■ ビデオCD再生時

症 状	原 因	処 置
PBCのメニュー画面を呼び出せない。	PBCの付いていないビデオCDを再生している。	PBCの付いていないビデオCDでは操作できません。
リピート再生、トラック/タイムサーチができない。	PBCの付いているビデオCDを再生している。	PBCの付いているビデオCDでは操作できません。

■ 5.1ch DSPユニット接続時

症 状	原 因	処 置
音が出ない。	光デジタルケーブルが正しく接続されていない。	光デジタルケーブルを正しく接続してください (取付説明書)。
	5.1ch DSPユニットは、96 kHzの信号に対応していません。	出力設定を48 kHzに切り換えてください (75ページ)。

こんなメッセージが表示されたら

ディスクを正常に再生できないときは、モニターにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
ERROR-02	ディスクが汚れているとき。	ディスクの汚れを拭き取ってください (10ページ)。
	ディスクにキズやひびがあるとき。	ディスクを交換してください。
	ディスクの裏表を逆にしているとき。	ディスクの裏表が正しいか確認してください (27ページ)。
ERROR-05	本機の電気系、機構系の故障が考えられるとき。	本機を一度OFFにしてからONにしてください (24、25ページ)。
ERROR-A0	本機の電気系、機構系の故障が考えられるとき。	保証書とアフターサービス (87ページ) をお読みになり、修理を依頼してください。
TEMPERATURE PROTECTION IN MOTION (TEMP)	本機の内部温度に異常があるとき。	本機が正常に動作する温度になるまでお待ちください。
DIFERENT REGION DISC (REGION ERR)	リージョン番号が異なるDVDを使用しているとき。	リージョン番号「2」を含むDVDに交換してください。
NON-PLAYABLE DISC	本機で再生できないディスク (CD-ROMなど) を使用しているとき。	本機で再生できるディスクに交換してください (11ページ)。
TRACK SKIPPED	デジタル著作権保護 (DRM) で保護されたWMAファイルを再生した。	デジタル著作権保護 (DRM) で保護されていないファイルを再生してください。
PROTECTED CD	ディスク内のすべてのファイルがデジタル著作権保護 (DRM) で保護されている。	CDを交換してください。

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

仕様

共通部

使用電源：

DC 14.4 V (10.8～15.1 V 使用可能)

アース方式：

マイナスアース方式

最大消費電流：

4 A

寸法 (本体部)：

(取付寸法) (D)

178 (W)×50 (H)×166 (D) mm

(ノーズ寸法)

170 (W)×46 (H)×16 (D) mm

質量 (本体部)：

1.7 kg (コードユニット含まず)

寸法 (ハイドウェイ部)

179 (W)×28 (H)×100 (D) mm

質量 (ハイドウェイ部)：

0.5 kg (コードユニット含まず)

形式：

DVDビデオ、ビデオCDおよびコンパクトディスクオーディオシステム

リージョン番号：

2

使用ディスク：

DVDビデオ、ビデオCD、コンパクトディスク、CD-ROM (MP3、WMA)

信号フォーマット：

サンプリング周波数：

44.1/48/96 kHz

量子化ビット数：

16/20/24ビット直線

MP3デコーディングフォーマット

MPEG-1 & 2 Audio Layer-3

WMAデコーディングフォーマット

Ver 7、8 (Windows Media Audio)

ビデオ

出力レベル 映像：

1 Vp-p/75 Ω (±0.2 V)

オーディオ (DVDビデオ、96 kHzサンプリング時)

周波数特性：

5 ～ 44 000 Hz

S/N：

97 dB (1 kHz) (IHF-Aネットワーク)

(CD：96 dB (1 kHz) (IHF-Aネットワーク))

ダイナミックレンジ：

95 dB (1 kHz)

(CD：94 dB (1 kHz))

高調波歪率：

0.008 % (1 kHz)

出力レベル 音声：

1 V (1 kHz、0 dB)

チャンネル数：

2チャンネル (ステレオ)

リモコン受光部

外形寸法：

38 (W) × 28 (H) × 15 (D) mm

質量：

0.015 kg

付属品

リモコン	： 1
リチウム電池 (CR2025)	： 1
電源コード	： 1
オーディオ接続コード	： 1
ビデオ接続コード	： 1
取付ネジ類	： 1式
取付金具	： 1式
取扱説明書	： 1
取付説明書	： 1
安全上のご注意	： 1
保証書	： 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内	： 1
お客様登録のお願い	： 1

- ・ 上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。



この説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

市外局番「0070」で始まる ☎ フリーフォン、および「0120」で始まる ☎ フリーダイヤル は、PHS、携帯電話などからはご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い(取り付け・組み合わせなど)については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口

カスタマーサポートセンター (全国共通フリーフォン)

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00 (弊社休業日は除く)

● カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話 ☎ 0070-800-8181-11

【一般電話】 03-5496-8016

ファックス 03-3490-5718

インターネットホームページ <http://www.pioneer.co.jp/support/index.html>

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付センター (沖縄県を除く全国)

受付時間 月曜～金曜 9:30～19:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～18:00 (弊社休業日は除く)

電話 ☎ 0120-5-81028

【一般電話】 03-5496-2023

ファックス ☎ 0120-5-81029

インターネットホームページ <http://www.pioneer.co.jp/support/repair.html>

※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ／ビジュアル商品に限ります

沖縄サービスステーション (沖縄県のみ)

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 (土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話 【一般電話】 098-879-1910

ファックス 098-879-1352

部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品(付属品・リモコン・取扱説明書など)のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～18:00 (弊社休業日は除く)

電話 ☎ 0120-5-81095

【一般電話】 0538-43-1161

ファックス ☎ 0120-5-81096

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2006

< KMIZF > < 06C00000 > < CRA3857-B >